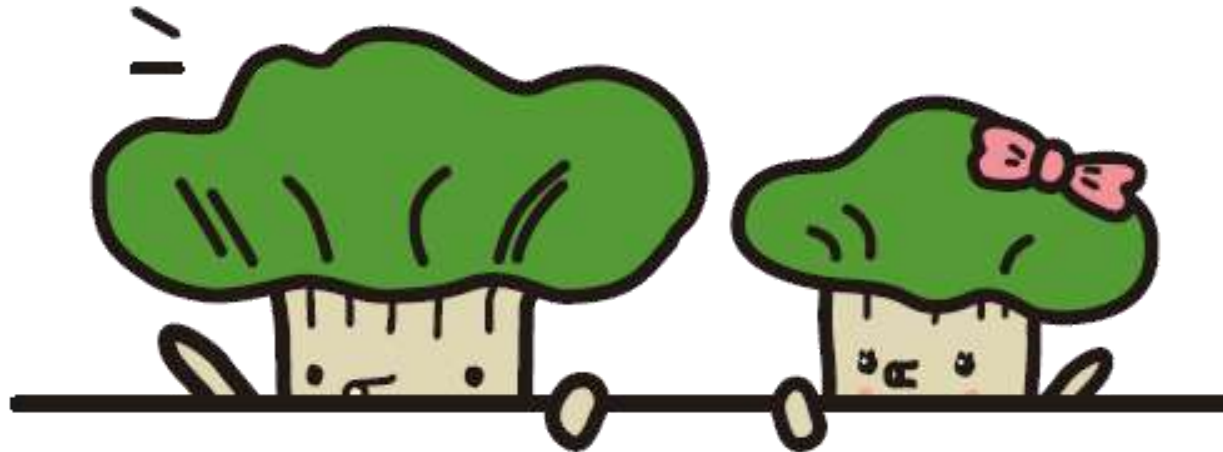


2022年3月期 決算

# 決算概況と今後の事業展開について



つなぐを化学する  
荒川化学工業株式会社

2022.5.31

# 目次

**1** 第5次中期5カ年経営実行計画とその進捗について

**2** 決算概況と今期予想

**3** セグメント別情報

**4** 事業と製品

**5** サステイナビリティへの取り組み

参考資料

# ロシア・ウクライナ侵攻について

## ■ウクライナ侵攻の影響について

| 項目              | 状況  |
|-----------------|-----|
| ロシア・ウクライナの拠点    | 無し  |
| ロシア・ウクライナの主要取引先 | 無し  |
| 債権              | 回収済 |

- ・ 原油やヨーロッパでの天然ガスの歴史的な高騰にともない、  
荒川ヨーロッパ社での主原料である石化原料や水素の価格が高騰  
→ 急激な収益性の悪化により、減損処理を実施  
(減損損失 3 億 4 6 百万円を計上済)

**1**

## **第5次中期5カ年経営実行計画とその進捗について**

# 第5次中期5カ年経営実行計画について

2021～2025年度

## **V-ACTION** *for sustainability*

- ・ Vector 方向・進路（サステナビリティ）
- ・ Value 価値（企業価値）
- ・ Variety 変化・多様性（中計最終時の姿）
- ・ Venture 冒険的事業（みつける）
- ・ Vitality 活力（働きがいと生産性の向上）

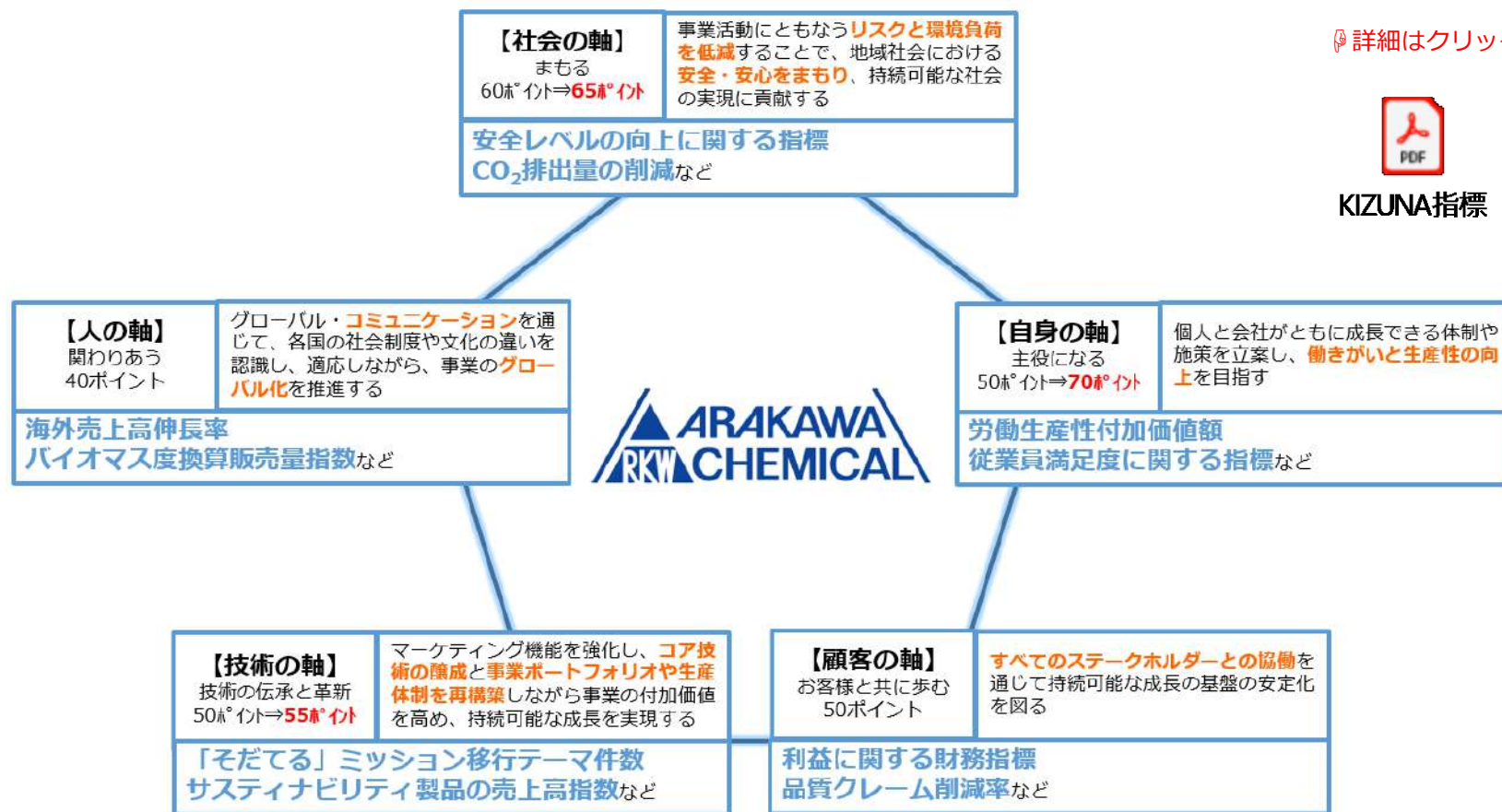
人と事業の新陳代謝の深化、事業基盤の持続性を確保し、

持続可能な地球環境と社会を実現するための課題に取り組み、

付加価値・新規事業の創出、安全文化の醸成、および働きがいと生産性の向上を目指す

# 5つのKIZUNA/KIZUNA指標

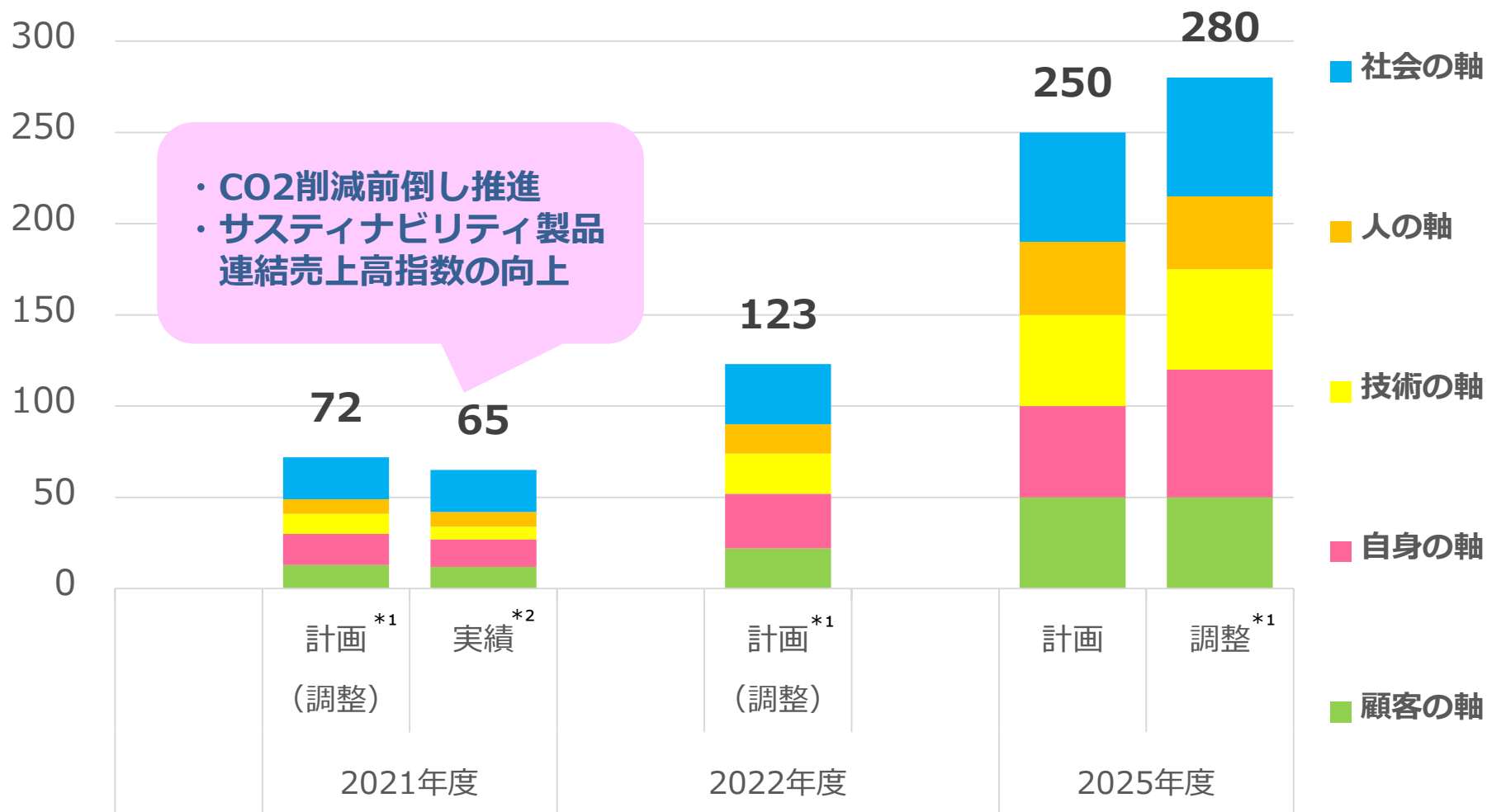
- 5つのKIZUNAとリンクした優先的な重要課題に対する指標を設定
- 達成度に応じてポイント付与（目標ポイントを目指し「ありたい姿」へ）
- プライム市場への移行にともない、KIZUNA指標を追加・ポイント配分を変更



（KIZUNAポイント配分変更前：250ポイント 変更後：280ポイント）各修正値は赤字にて記載

# KIZUNA指標の進捗

K I Z U N Aポイントの推移



\*1 プライム市場移行に伴って調整した値

\*2 2021年度 各指標の実績値はp 51を参照

# 経営目標の推移

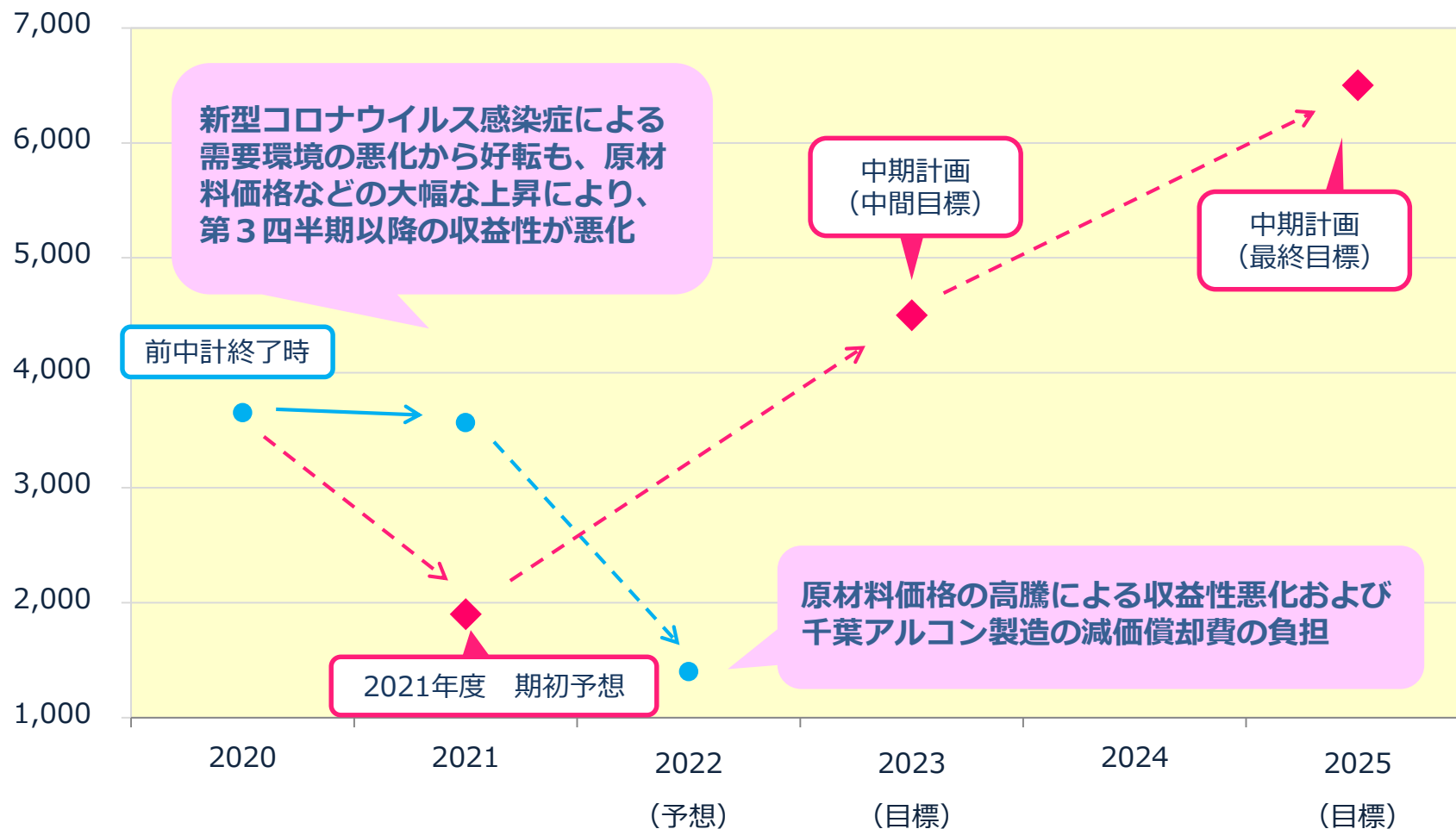
(百万円)

|                     | 2020年度<br>(前中計終了時) | 2021年度 | 2022年度<br>(予想) | 2023年度<br>(目標) | 2025年度<br>(最終目標) | 5カ年<br>伸率 (%) |
|---------------------|--------------------|--------|----------------|----------------|------------------|---------------|
| 売上高                 | 70,572             | 80,515 | 90,000         | 84,000         | 90,000           | + 27.5        |
| 営業利益                | 3,257              | 3,304  | 1,600          | 4,500          | 6,500            | + 99.6        |
| 経常利益                | 3,652              | 3,566  | 1,400          | 4,500          | 6,500            | + 78.0        |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 | 2,169              | 1,502  | 900            | 3,250          | 4,500            | + 107.5       |
| EBITDA              | 6,237              | 6,500  | 7,070          | 9,800          | 11,200           |               |



# 進捗状況（経常利益）

（百万円）



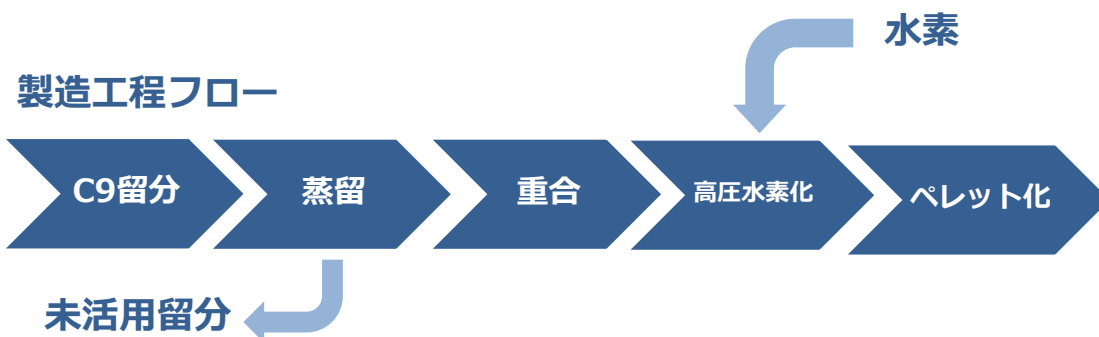
**2**

## **決算概況と今期予想**

# 千葉アルコン製造について

過去最大級の大型設備

⇒複数にわたる製造工程の動作確認および不具合の解消・部品調達に  
多くの時間を要し、稼働開始が遅延



水素化石油樹脂製造プラント（千葉）



第2四半期での稼働開始に向け、安全を最優先に取り組む

千葉アルコン製造(株)の減価償却費（予想）

（百万円）

| 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
|--------|--------|--------|--------|
| 約1,700 | 約2,200 | 約1,800 | 約1,400 |

# 荒川ケミカルベトナム社 稼働開始

■ 2022年3月に稼働を開始

■ 成長著しいベトナムのほか、ASEAN市場に  
紙力増強剤を提供（第1期 年産2万トン）

紙力増強剤 製造拠点設立順



(地図) 外務省ホームページから引用



板紙需要の拡大に対応し、成長を加速させ、成果の最大化を図っていく

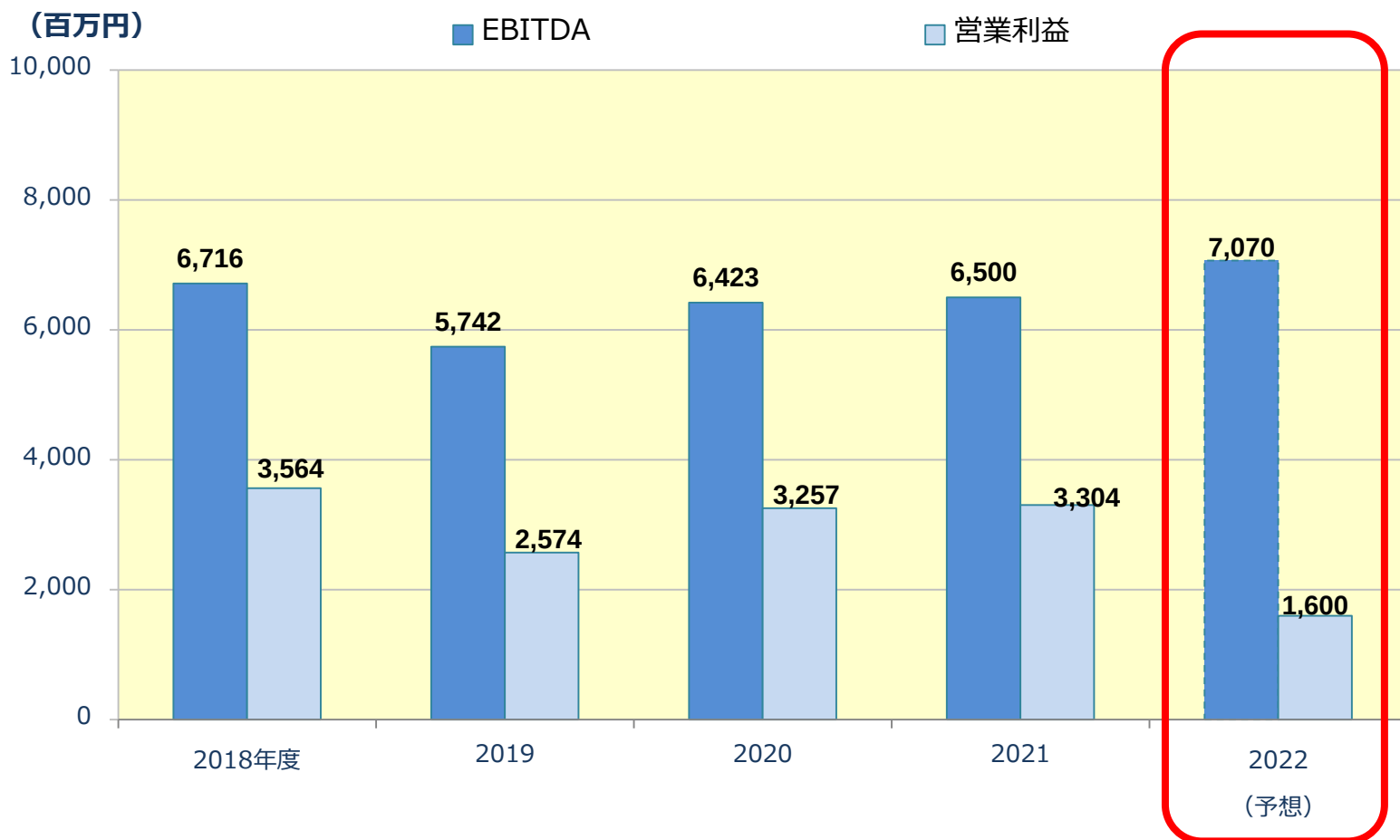
# 連結業績と今期予想

| 上段：百万円<br>下段：増減率    | 2017年度 | 2018年度  | 2019年度  | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度<br>(予想) |
|---------------------|--------|---------|---------|--------|--------|----------------|
| 売上高                 | 80,782 | 79,501  | 72,967  | 70,572 | 80,515 | 90,000         |
|                     | 4.4 %  | △1.6 %  | △8.2 %  | △3.3 % | 14.1%  | 11.8 %         |
| 営業利益                | 4,892  | 3,564   | 2,574   | 3,257  | 3,304  | 1,600          |
|                     | △4.0 % | △27.1 % | △27.8 % | 26.5 % | 1.4%   | △51.6 %        |
| 経常利益                | 5,218  | 3,950   | 2,927   | 3,652  | 3,566  | 1,400          |
|                     | △1.8 % | △24.3 % | △25.9 % | 24.8 % | △2.3%  | △60.7 %        |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 | 3,111  | 3,890   | 1,732   | 2,169  | 1,502  | 900            |
|                     | △8.9 % | 25.0 %  | △55.5 % | 25.3 % | △30.7% | △40.1 %        |
| EBITDA              | 7,788  | 6,716   | 5,742   | 6,423  | 6,500  | 7,070          |
|                     | △2.3 % | △13.8 % | △14.5 % | 11.9 % | 1.2%   | 8.8 %          |
| ROE                 | 6.0 %  | 7.1 %   | 3.2 %   | 4.0 %  | 2.6%   | 1.5 %          |

【2022年度】為替レート的前提条件 ① 1 USD = 115円 ② 1 EUR = 135円

# EBITDAについて

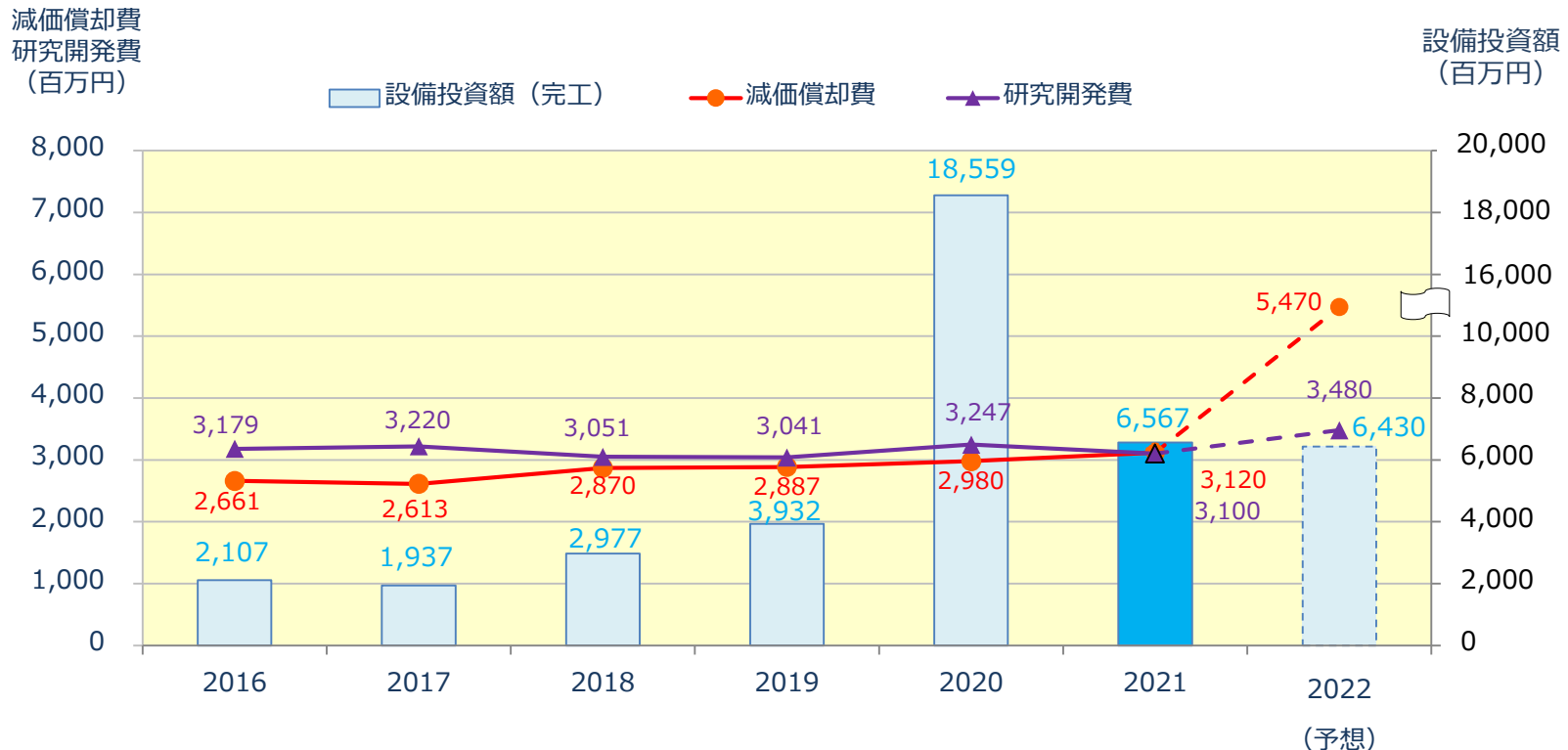
2022年度は千葉アルコン製造の多額の償却費を計上する見込みから、  
営業利益は減益もEBITDAは前期比+569百万円（+8.8%）の増加



# 設備投資および研究開発費

## 2022年度見通し

- ・設備投資：光硬化型樹脂を中心とした機能性コーティング材料用設備の新規増設や生産性向上関連の投資があり、64億30百万円の見込み
- ・減価償却：千葉アルコン製造における多額の償却費計上を見込んでいることから、54億70百万円の見込み

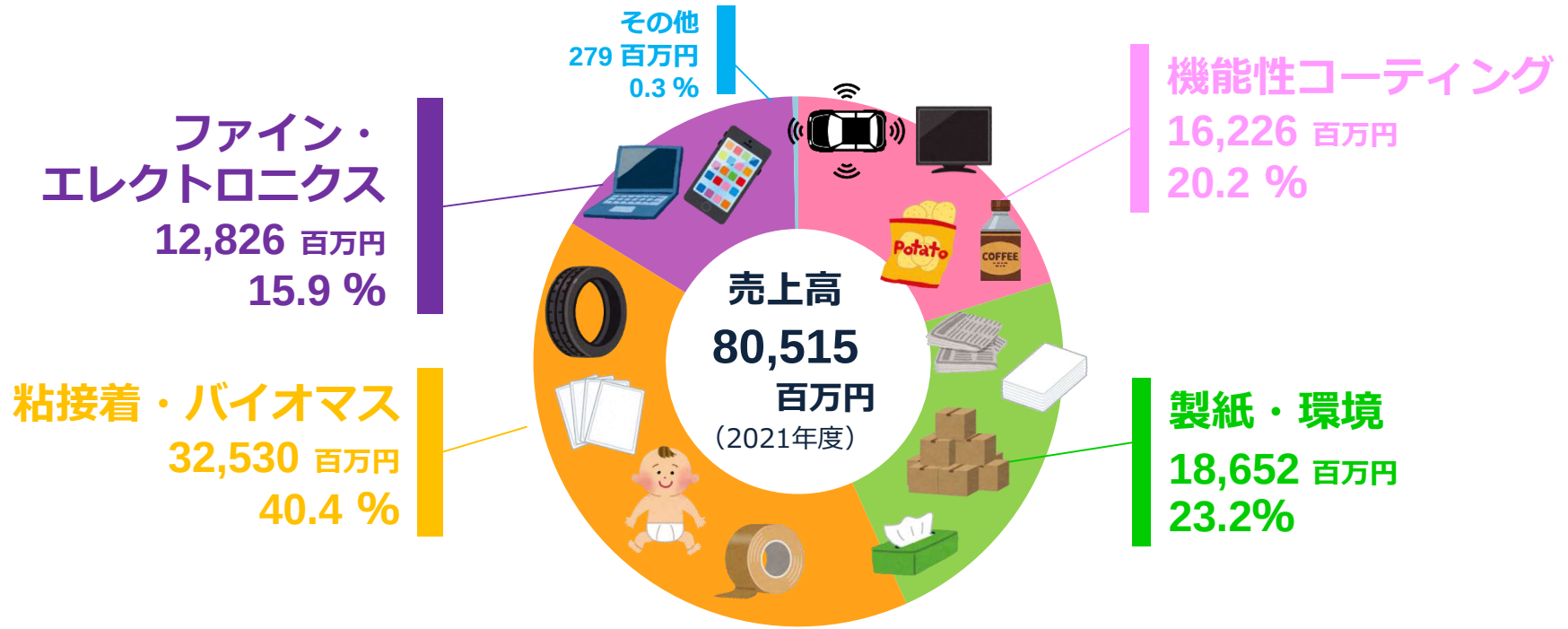


3

## セグメント別情報



# セグメント別売上高

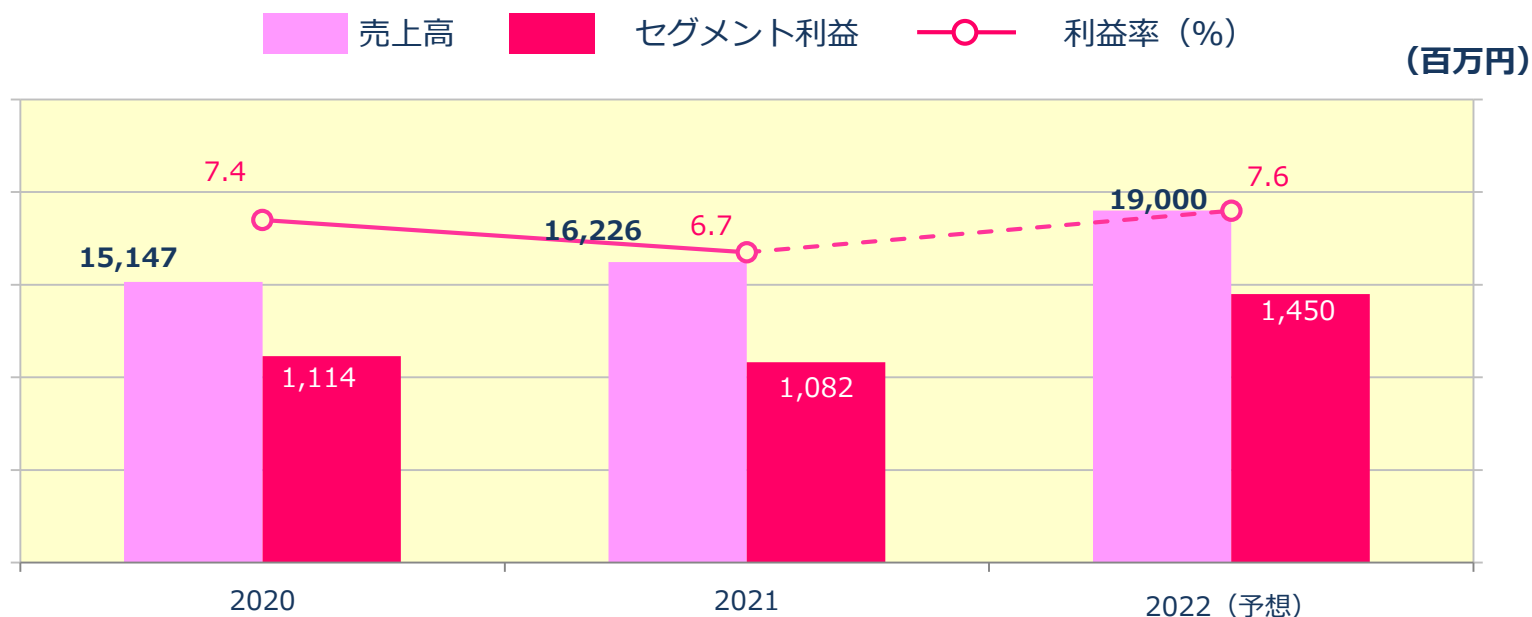


| セグメント         | 事業内容                                                   |
|---------------|--------------------------------------------------------|
| 機能性コーティング     | 光硬化型樹脂、熱硬化型樹脂、印刷インキ用樹脂、塗料用樹脂 等                         |
| 製紙・環境         | 紙力増強剤、サイズ剤、新規水系ポリマー 等                                  |
| 粘接着・バイオマス     | 水素化石油樹脂、粘着・接着剤用樹脂、超淡色ロジン、合成ゴム重合用乳化剤 等                  |
| ファイン・エレクトロニクス | 精密部品洗浄剤および洗浄装置、低誘電ポリイミド樹脂、ファインケミカル製品、電子材料用配合製品、精密研磨剤 等 |

- 機能性コーティング材料用の光硬化型樹脂は、自動車関連分野や5G関連分野での販売が引き続き堅調に推移
- 印刷インキ用樹脂や塗料用樹脂などの販売は増加したものの、原材料価格の上昇等により下期の収益性が低下

### 2022年度見通し

- 光硬化型樹脂の需要好調が継続することに加え、印刷インキ用樹脂・塗料用樹脂などの採算改善、熱硬化型樹脂の拡販を見込む



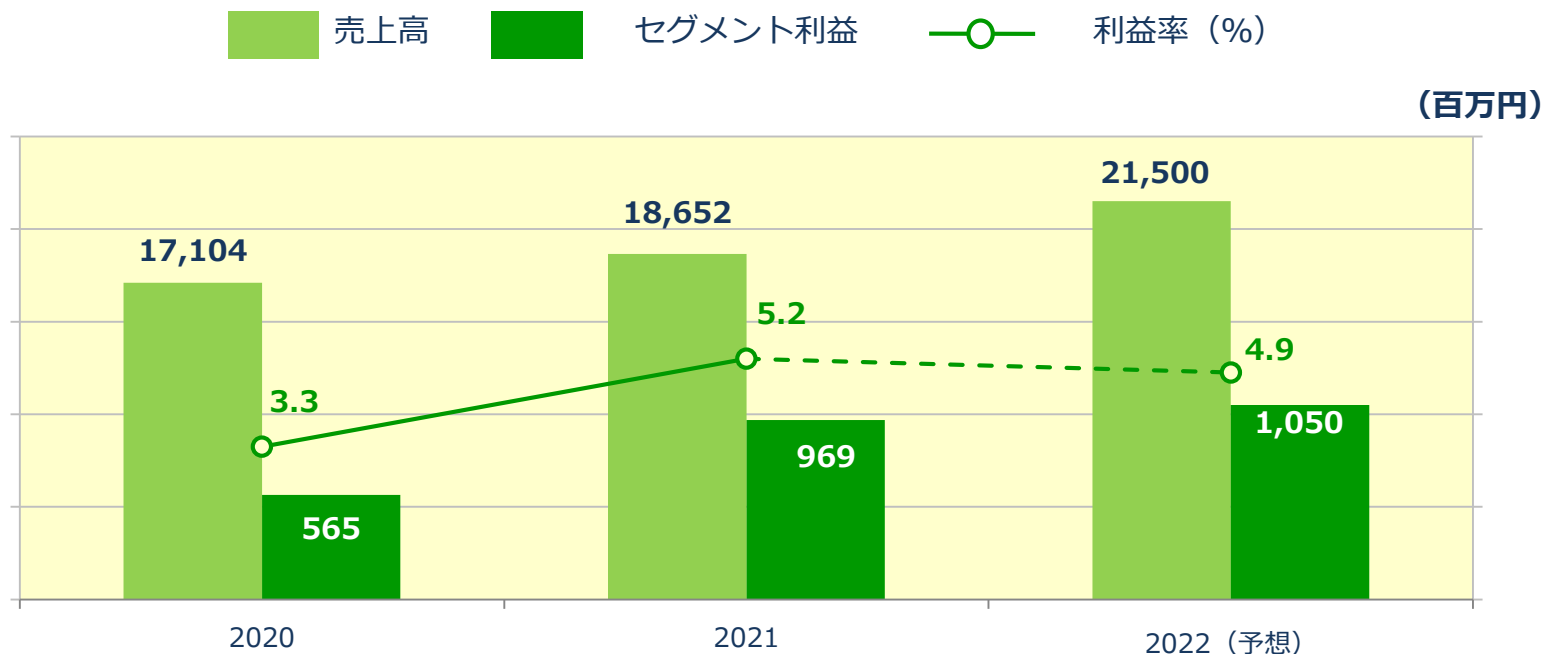
\* 2021年度より収益認識会計基準等を適用

- 新型コロナウイルス感染症の影響により大きく落ち込んだ前年からは回復

原材料価格の上昇により下期の収益性が低下も、紙力増強剤の販売が国内外ともに堅調に推移

## 2022年度見通し

- 中国やASEANで紙力増強剤の需要が増加する見込み
- 国内では、原料高による厳しい状況が続く見込み ⇒ 価格転嫁による採算改善を推進
- 海外では、荒川ケミカルベトナム社の寄与も見込む

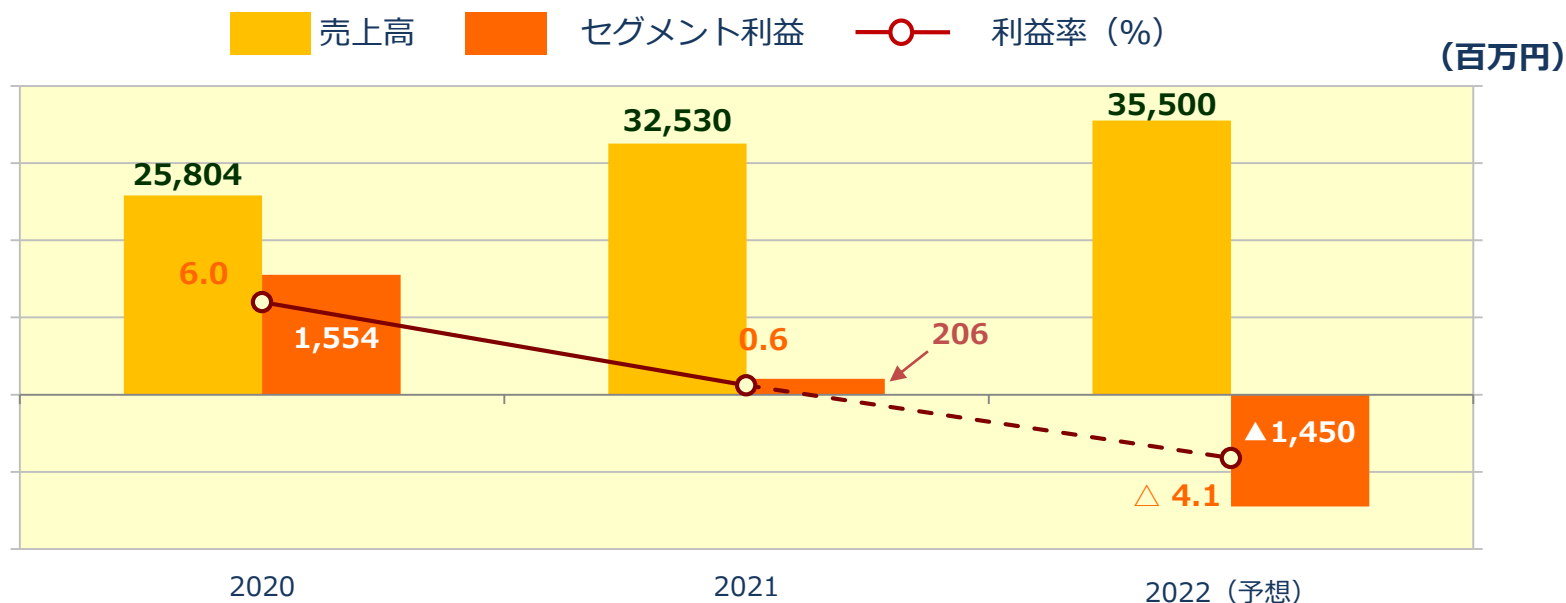


\* 2021年度より収益認識会計基準等を適用

- ロジン系粘着・接着剤樹脂や水素化石油樹脂の販売は堅調に推移も、ロジンや石化原料、欧州における天然ガスおよび水素の価格高騰などにより、収益性が急激に悪化

## 2022年度見通し

- 自動車関連分野を中心に粘着・接着剤用樹脂の需要が堅調に推移する見込み
  - 千葉アルコン製造は第2四半期での稼働開始を目指す
- ⇒ 販売数量は増加も、多額の償却費計上のため、セグメント利益は赤字の見込み

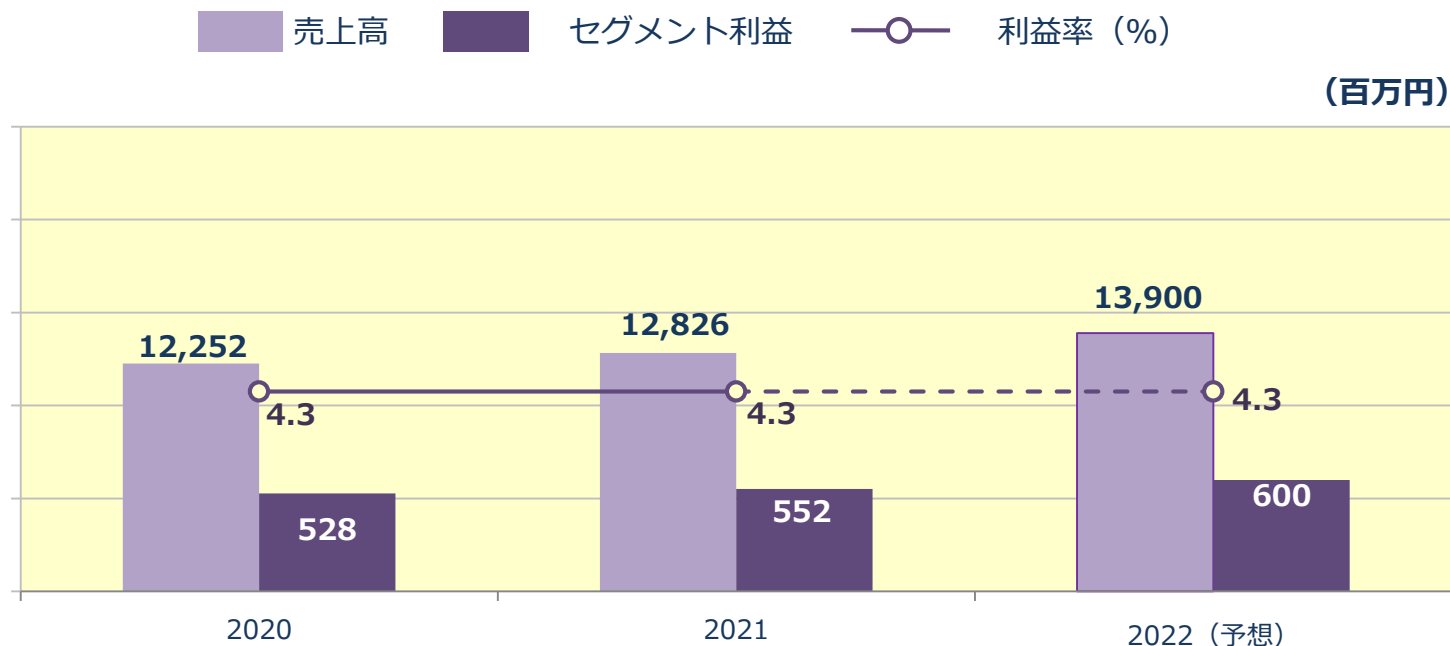


\* 2021年度より収益認識会計基準等を適用

- 電子工業業界は、電子媒体関連や5G関連分野の需要は堅調に推移も、一部において半導体不足やサプライチェーン停滞の影響による稼働低下や在庫調整が長期化
- 電子材料用配合製品や精密研磨剤は堅調に推移

## 2022年度見通し

- 半導体関連業界の堅調な需要に伴うファインケミカル製品の拡販と、電池材料の実績化を見込む

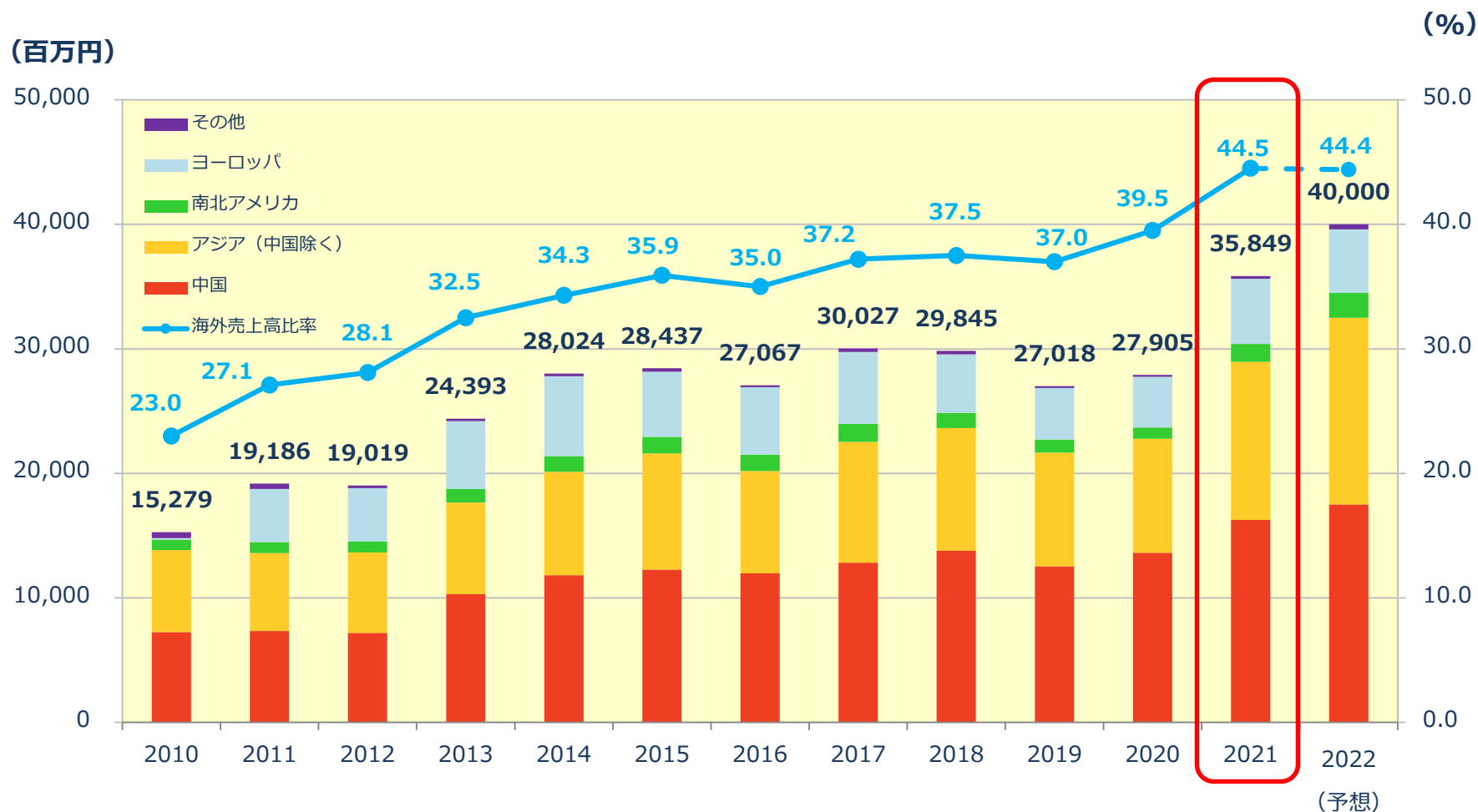


\* 2021年度より収益認識会計基準等を適用

# 海外売上高・比率 推移

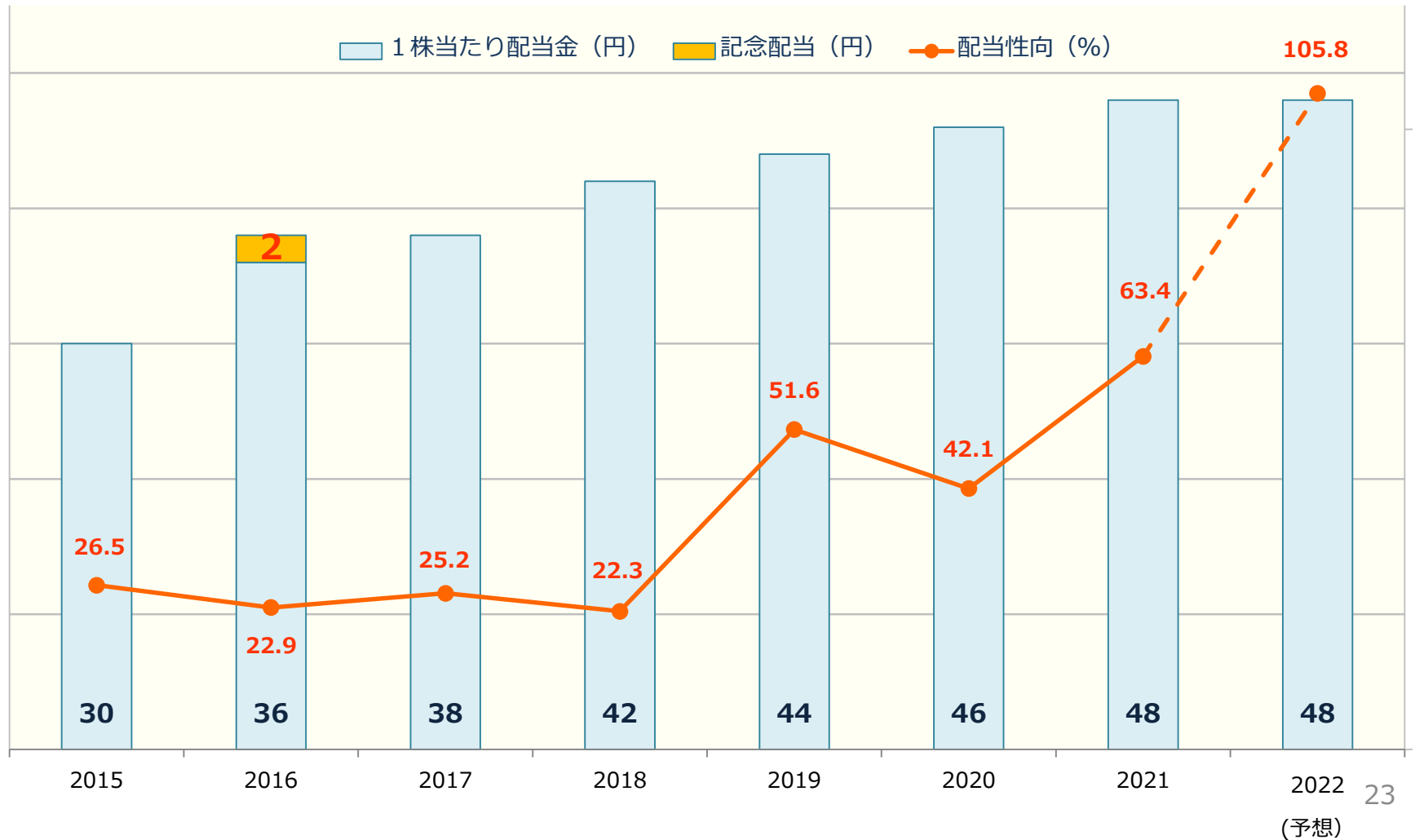
2021年度は、中国、台湾を中心とした粘着・接着剤用樹脂の売上高増加により、前期比+28.5%の増収。

2022年度は、千葉アルコン製造や、荒川ケミカルベトナム社の稼働開始により、海外売上高は約400億円となる見込み。



# 配当金の推移

- 2021年4月よりスタートしている第5次中期5カ年経営実行計画においては、成長戦略の実現による利益の拡大を通じた配当額の増額と配当性向 **40%** を目標として取り組んでいく



4

## 事業と製品

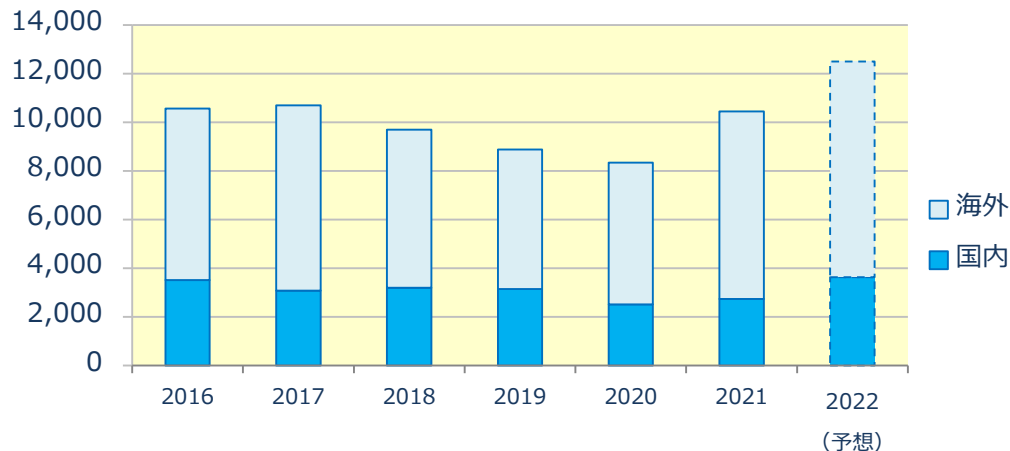


# 水素化石油樹脂

## 粘接着・バイオマス

- 世界で初めて工業化に成功（1965年上市）
- コスモEHD(株)、丸善石油化学(株)と3社合併で**2018年2月に千葉アルコン製造(株)を設立**  
**新プラントが完工し、第2四半期での稼働開始を目指す**  
⇒ 原料の効率的・安定的調達、一貫生産によるコスト競争力、インフラ有効活用
- 紙おむつ用ホットメルト接着剤で伸長  
⇒ 水島工場・ドイツの生産拠点をあわせた3拠点体制でグローバル需要への対応を進め、ブランド力の維持・強化に努める  
競合他社の供給能力増強により、ボリュームゾーンでの競争激化
- 高付加価値分野を伸長させていく

売上高  
(百万円)



▼水素化石油樹脂「アルコン」



# 光硬化型樹脂



## 機能性コーティング



：サステナビリティ製品

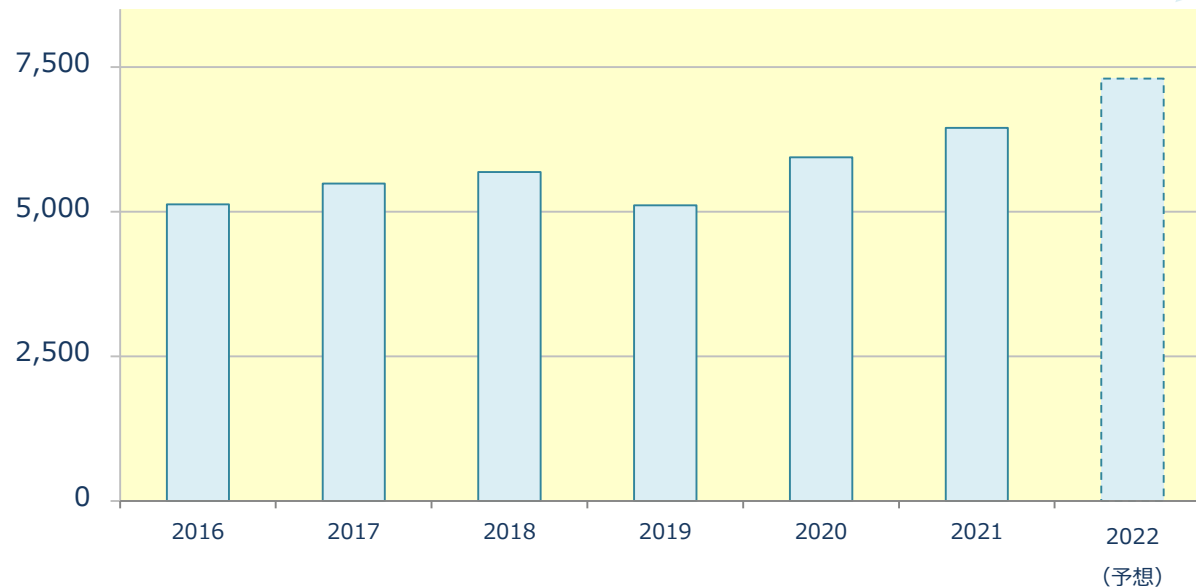
- 光で瞬時に固まり、省エネルギー、環境負荷低減（VOC削減）
- 要求特性を実現する樹脂設計と配合技術力
- フィルムコーティングの高機能化に



5G関連と自動車関連分野にて  
引き続き需要は好調に推移見込み

ビームセット、オプスター（光硬化タイプ）

売上高  
(百万円)



# 超淡色ロジン



粘接着・バイオマス

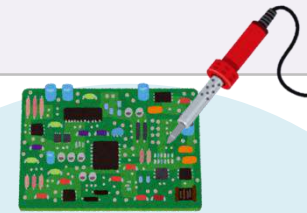
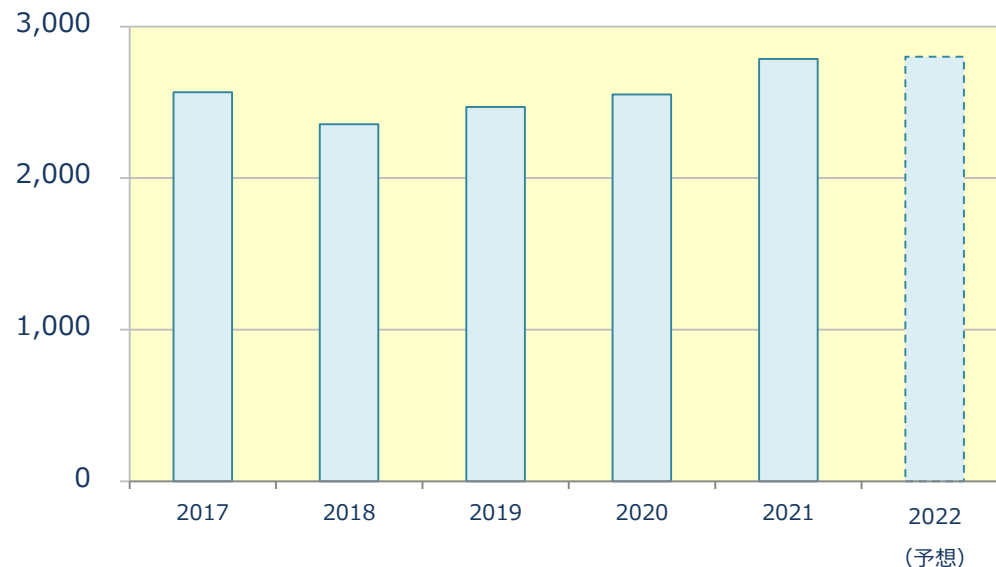


：サステナビリティ製品

- **オンリーワン**製品（琥珀色のロジンを高圧水素化技術により無色化）
- 鉛フリーはんだ用フラックスの**業界標準**
- **ライフサイエンス**分野にも進出
- 超淡色**液状**ロジンエステル開発



売上高  
(百万円)



■ 鉛フリーはんだ用フラックス



■ 医療用貼付剤



■ 3Dプリンター関連部材



■ 光学フィルム関連部材

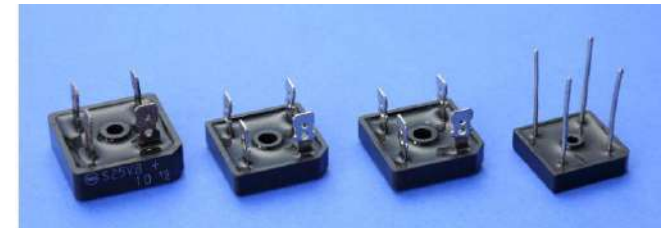
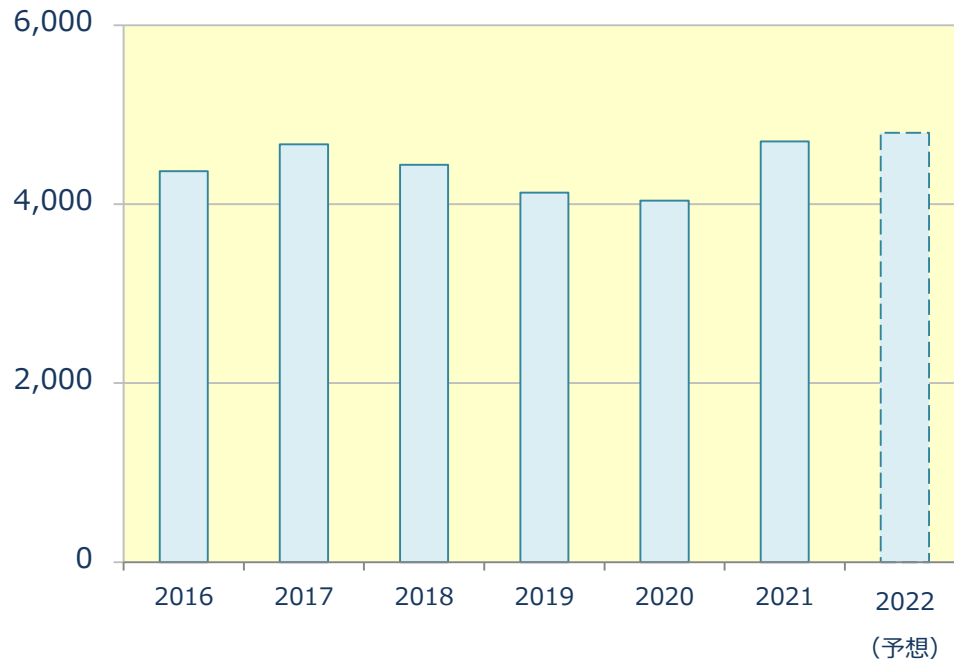
- **ほぼ無色、不純物が少ない**
- **熱安定性がよい**

# 電子材料用配合製品

ペルノックス

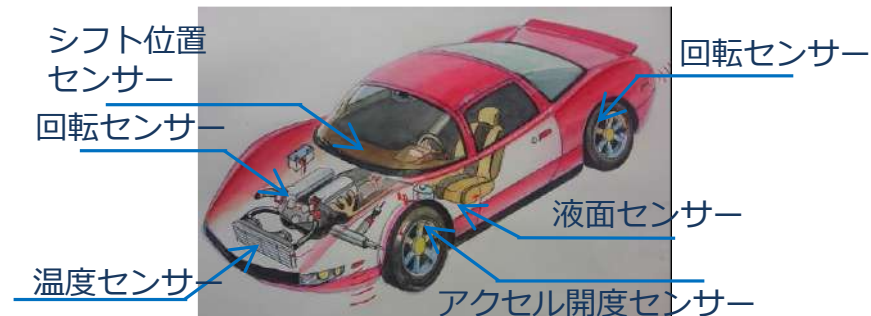
■ エポキシ樹脂、シリコン樹脂などの樹脂配合技術とフィラーの配合・分散技術に強み

売上高  
(百万円)



エポキシ樹脂用途

- 半導体モジュール
- 車載電装品
- センサー



# 精密研磨剤

## 山口精研工業

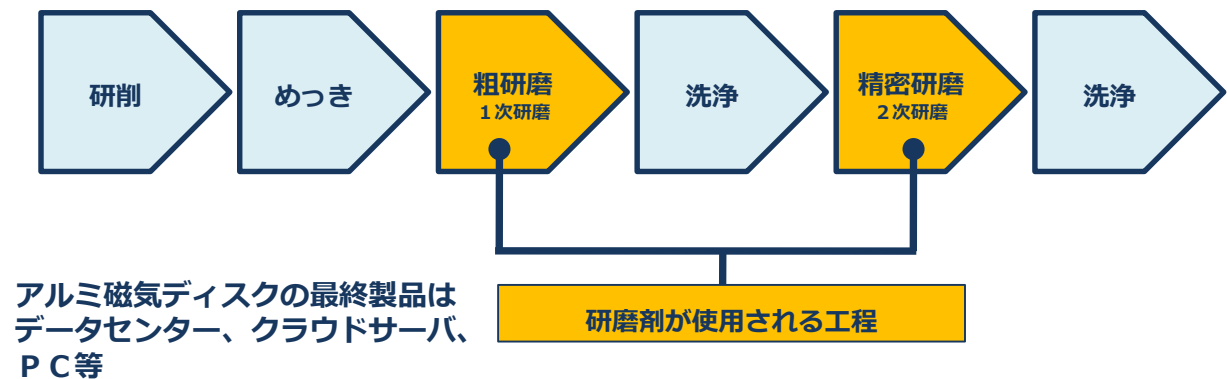
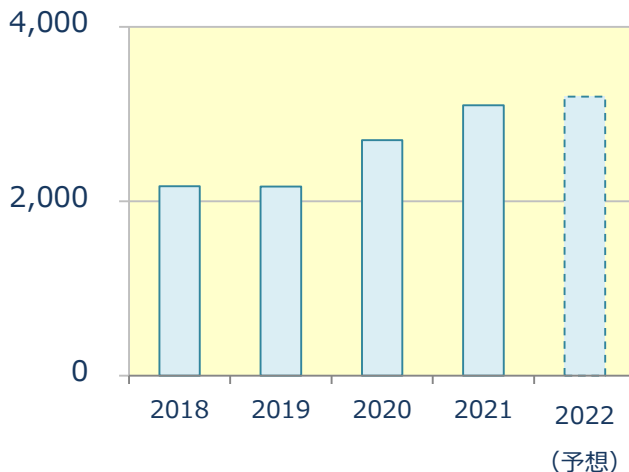
### 業界動向

ノートPC等の市場はSSDが優勢も、大容量化が進むデータセンター市場はHDDの需要拡大。HDD基板は高容量のための薄型化、面品質の向上とコスト削減でアルミ基板とガラス基板がしのぎを削っている。

- アルミ磁気ディスク用研磨剤を主体に各種金属などの鏡面研磨剤を扱う
- 薄型化に対応した研磨剤開発に注力



売上高  
(百万円)

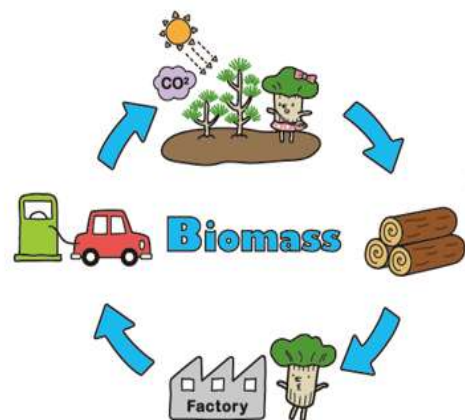


5

## サステイナビリティへの取り組み

# サステナビリティへの取り組み

■サステナビリティ委員会が中心となり、ESG、SDGs、Society5.0、気候変動などの環境問題や、ダイバーシティ＆インクルージョンなどを含む 社会的課題に対応すべく、様々な事項に取り組んでいく



サプライチェーンの持続性確保  
・カーボンニュートラル  
・VOCの低減  
・植林活動

**持続的な価値創出を実現**

炭素循環社会の実現  
・自動車のEV化や軽量化  
・スマート農業の促進

個々の能力を最大限発揮  
・キャリア形成支援  
・ワークライフバランスの最適化  
・業務プロセス改革



## KIZUNA指標・具体的な取り組み内容

- 2050年CO<sub>2</sub>排出量実質ゼロに向けた取り組み  
2025年CO<sub>2</sub>排出量：**30%削減** 2030年CO<sub>2</sub>排出量：**50%削減**（2015年比）
- 取り組み内容：富士工場で再エネ電気の導入、バイオマス原料への切替  
製品のリサイクル・脱プラスチック関連

# ESGの取り組み

荒川化学グループは経営理念のもと、化学メーカーとして安全・環境配慮を重視した経営を実践し、社会から認められ続ける会社を目指し、146年を歩んでまいりました。

この考えは、国連の2030年目標であるSDGs（貧困、エネルギー、気候変動等の世界の課題に対し17の開発目標を示したもの）にも通じるものです。

当社は**ESG（環境・社会・企業統治）経営**を通し、**SDGs**にも関連付けながら、さらに社会に貢献してまいります。

| E<br>Environment<br>環境                                                                                          | S<br>Social<br>社会                                                                 | 環境保全や技術開発による取り組み                                                                      |                                                                                       |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 開発目標                                                                                                            |                                                                                   | 荒川化学が提供する価値                                                                           |                                                                                       |
|                                |  | 暮らしの利便性、快適性を高める製品を提供し続けるための技術開発                                                       |                                                                                       |
|                               | * 海洋生分解性バイオマスプラスチック開発プラットフォームへ参画                                                  |                                                                                       |    |
|                              | 具体的な目標数値を掲げた温室効果ガス削減活動                                                            |                                                                                       |  |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・「OSAKAゼロカーボンファウンデーション」に参画</li><li>・カーボンニュートラルLNGバイヤーズアライアンスに加盟</li></ul> |                                                                                   |  |                                                                                       |



サプライチェーン全体での炭素循環、持続可能な調達を目指す



# 新規事業への取り組み

## 開発目標



## 荒川化学の取り組み

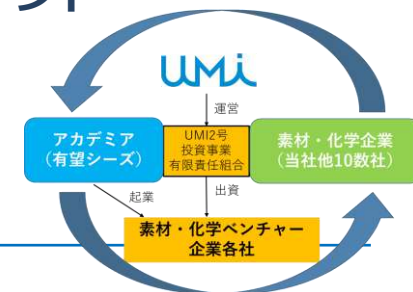
新規事業・新規テーマに関する

「社内テーマ提案・チャレンジャー育成」の運営チームを発足



ユニバーサル マテリアルズ インキュベーター社（UMI）が運営するベンチャーファンドであるUMI2号投資事業有限組合への投資

⇒素材・化学産業に特化した日本唯一のファンド



オープンイノベーションを活用した新規事業創出に取り組む

# 次代へつなぐ取り組み

## 開発目標

## 荒川化学が提供する価値

**4** 質の高い教育を  
みんなに



- ・「楽しく化学する」を基本とした体験学習の実施
- ・若手、中堅社員の海外研修制度、先進国およびその他の開発途上国における高等教育の奨学金制度



**8** 働きがいも  
経済成長も



### イキイキ・ワクワクと働ける環境整備の推進と充実化

「健康経営優良法人2022大規模法人部門」に認定

ダイバーシティ&インクルージョンの推進

⇒仕事と育児の両立をサポートする「仕事と育児の応援BOOK」を製作



### 安全文化の醸成活動促進

- ・保安力向上センターによる保安力評価受審（富士工場、大阪工場）
- ・体感型学習 小名浜保安道場
- ・荒川安全伝承館の設置（11月完成）
- ・令和3年度「優良危険物関係事業所 消防庁長官表彰」を受賞

釧路工場、鶴崎工場、グループ会社の高圧化学工業株式会社



**15** 陸の豊かさも  
守ろう



### 地域の松林復元に寄与する「マツタロウの森」プロジェクト他の植林活動

＊2022年度は水島工場の従業員と合同での活動を予定

### CO<sub>2</sub>吸収量認定評価

林野庁「グリーンパートナー2022」にマツタロウの森のCO<sub>2</sub>吸収量の公表



# 経営理念の共有と実践（※KIZUNA活動）

- 2021年度よりサステナビリティ委員会、KIZUNA推進室を設置
- **KIZUNA**活動の継続により、根幹の揺らぐことのない経営を実践する
- リスク管理や内部統制制度、コンプライアンス、コーポレートガバナンス・コードへの取組みを徹底し、中長期的な収益性・生産性を高め、好循環につなげることで企業価値の向上と社会貢献に努める

※**KIZUNA**は、“**ARAKAWA WAY** 5つの**KIZUNA**”の略称であり、当社グループの大切にしている価値観・行動指針を明文化したもの



価値観・行動指針

高圧化学工業でKIZUNAワークショップ実施

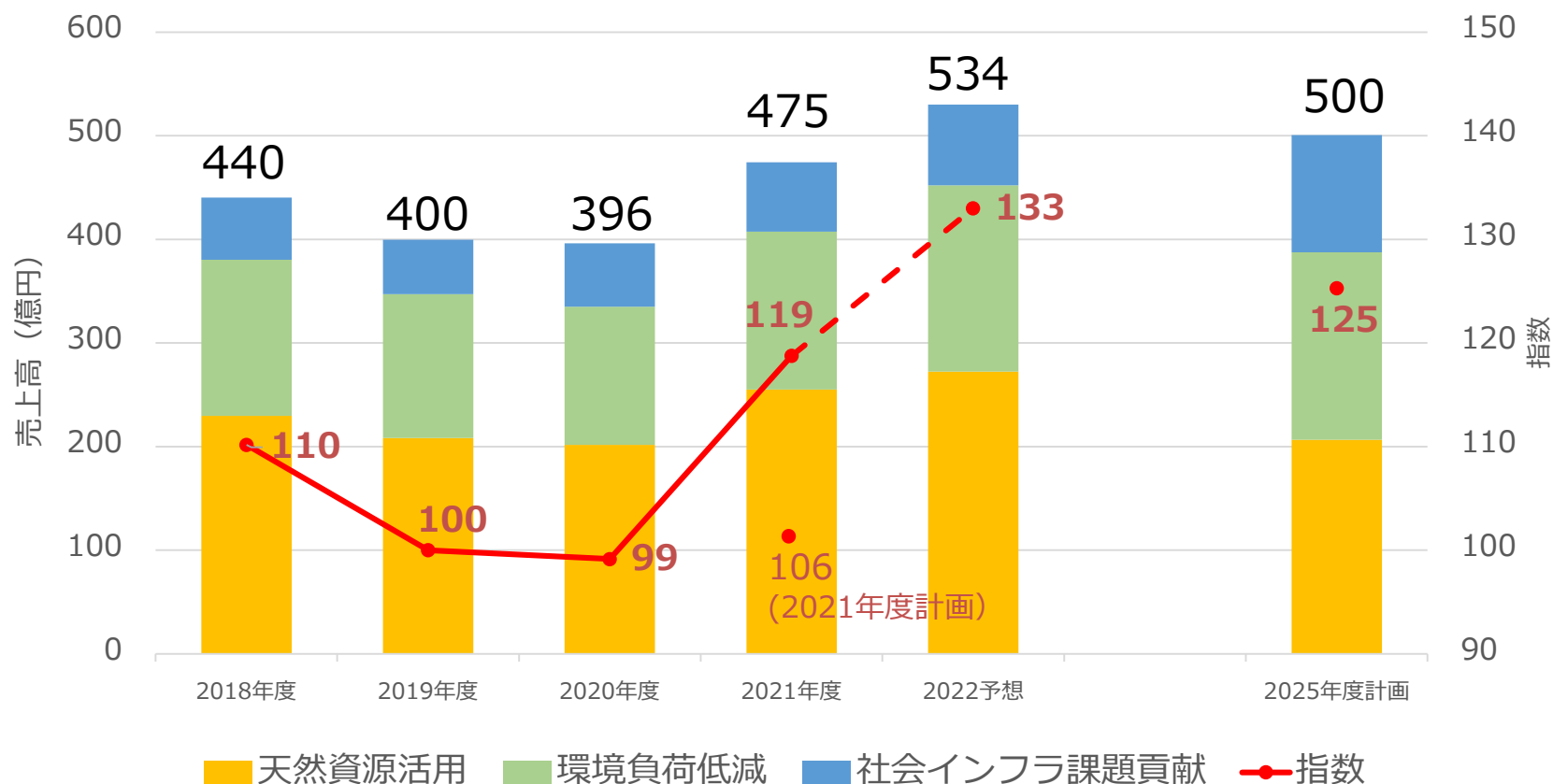


KIZUNAワークショップ

# サステナビリティ製品の連結売上高指数推移

サステナビリティ製品を3つのカテゴリー別に分けて進捗管理

## サステナビリティ製品の連結売上高



## 見通しに関する注意事項

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。

# 荒川化学工業株式会社



# 参考資料

## <会社概要>

- 会社概要 ■ 沿革 ■ ネバネバ！ロジンのチカラ ■ 明治9年 大阪 道修町で創業
- 広がるグローバルネットワーク

## <第5次中期5カ年経営実行計画について（補足）>

- 経営理念とビジョン ■ 2030年のありたい姿 ■ 荒川化学の未来像（ビジョンの具現化）
- 優先的な重要課題（マテリアリティ）と5つのKIZUNA ■ 基本方針 ■ KIZUNA経営
- KIZUNA指標一覧 ■ 財務目標 ■ 事業ポートフォリオ改革 ■ 各セグメント計画説明資料
- 海外売上高伸長率 ■ 連結データ ■ SLBスキームイメージ ■ サステナビリティ製品のSDGsへの貢献
- サステナビリティ製品の指標への影響度

## <製品情報>

- 低誘電ポリイミド樹脂（PIAD） ■ 熱硬化型樹脂 ■ 精密部品洗浄システム ■ ファインケミカル製品

## <財務情報・その他>

- 総資産・有利子負債推移 ■ キャッシュフロー推移 ■ 売上原価・販売管理費推移
- SPTsの内容について ■ ロジン価格の推移 ■ 株価推移 ■ 株式情報
- マツタロウ&ロジーナについて



# 会社概要

■ 2022年3月末現在

|                     |                                                                                                                                                      |
|---------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 商 号                 | 荒川化学工業株式会社                                                                                                                                           |
| 所 在 地               | 大阪府中央区平野町1丁目3番7号                                                                                                                                     |
| 代 表 者               | 取締役社長 宇根 高司                                                                                                                                          |
| 創 業                 | 明治9年（1876年）                                                                                                                                          |
| 会 社 設 立             | 昭和6年（1931年）                                                                                                                                          |
| 資 本 金               | 3,343百万円                                                                                                                                             |
| 従 業 員 数             | 1,615名（連結）                                                                                                                                           |
| 主 要 取 引 先<br>（五十音順） | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 王子ホールディングス</li><li>・ 関西ペイント</li><li>・ JSR</li><li>・ 東洋インキSCホールディングス</li><li>・ 日東電工</li><li>・ リンテック</li></ul> |



1926年（大正15年）商標登録

当時としてはモダンなアルファベット表記



# 沿革

|       |         |                                                     |
|-------|---------|-----------------------------------------------------|
| 1876年 | (明治9年)  | 大阪で生薬商として創業                                         |
| 1914年 | (大正3年)  | 鳴野工場を開設し、ロジンの製造開始                                   |
| 1928年 | (昭和3年)  | ロジン系塗料用樹脂の製造開始                                      |
| 1937年 | (昭和12年) | ロジン系印刷インキ用樹脂の製造開始                                   |
| 1954年 | (昭和29年) | 製紙用薬品（サイズ剤）の製造開始                                    |
| 1967年 | (昭和42年) | 台湾に天立化学（現 台湾荒川化学）を設立                                |
| 1977年 | (昭和52年) | 荒川林産化学工業(株)から荒川化学工業(株)に改称                           |
| 1995年 | (平成7年)  | 中国に梧州荒川化学を設立                                        |
| 1999年 | (平成11年) | 大証第二部に株式上場                                          |
| 2003年 | (平成15年) | 東証・大証第一部に株式上場<br>日本ペルノックス（株）（現 ペルノックス（株））が当社グループに加入 |
| 2004年 | (平成16年) | 中国に南通荒川化学、広西荒川化学を設立                                 |
| 2008年 | (平成20年) | 中国に広西梧州荒川化学を設立                                      |
| 2010年 | (平成22年) | ダウ・ケミカル社のドイツの「アルコン」事業を取得                            |
| 2011年 | (平成23年) | 中国に荒川化学合成（上海）有限公司を設立                                |
| 2012年 | (平成24年) | 台湾に柏彌蘭科技股份有限公司（ポミラン・テクノロジー社）を設立                     |
| 2014年 | (平成26年) | 台湾に日華荒川化学股份有限公司を設立                                  |
| 2015年 | (平成27年) | 山口精研工業（株）（名古屋）が当社グループに加入                            |
| 2018年 | (平成30年) | 千葉アルコン製造（株）を設立<br>荒川化学合成（上海）有限公司 東莞分公司を開設           |
| 2019年 | (令和元年)  | 荒川ケミカルベトナム社を設立                                      |
| 2022年 | (令和4年)  | 東証・プライム市場に移行                                        |



# ネバネバ！ロジンのチカラ

ロジンとは松脂を精製してつくられる樹脂のこと。

松の木にキズをつけると、**ネバネバした松脂**がにじみ出てきます。



**世界で古くから  
使われている天然資源！**



# 明治9年 大阪 道修町で創業

## 経営理念

個性を伸ばし  
技術とサービスで  
みんなの夢を実現する



商店時代の看板  
□に玉で「カクタマ」と読む



木箱に入った国産ロジン

道修町は薬のまち！



明治末期の道修町の様子



前列中央が荒川正太郎（初代社長）



# 広がるグローバルネットワーク



## 海外事業所

### ● 製造・販売拠点

荒川ヨーロッパ（ドイツ）  
広西梧州荒川（中国）  
南通荒川（中国）  
荒川ケミカル（タイランド）  
台湾荒川  
荒川ケミカルベトナム社

### ● 販売拠点

荒川化学合成（上海）  
荒川ケミカル（米国）  
日華荒川（台湾）  
ボミランテクノロジー（台湾）

## 国内事業所

### 製造拠点

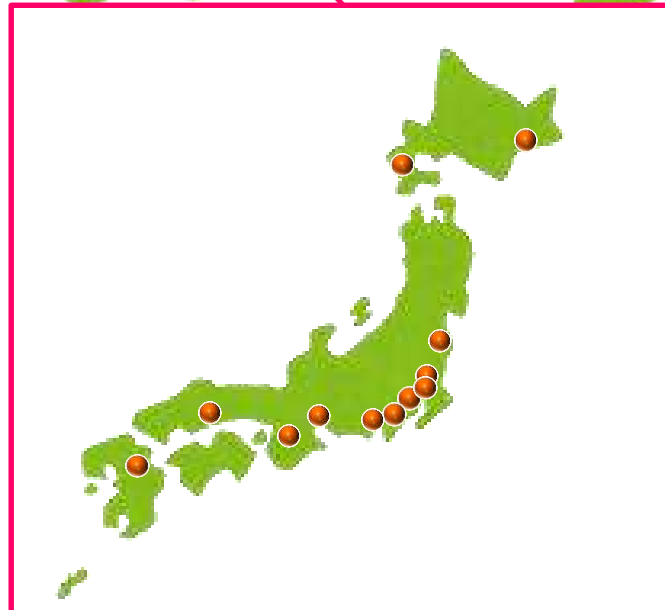
大阪工場  
富士工場  
水島工場  
小名浜工場  
釧路工場  
鶴崎工場

### 研究所

研究所（大阪）  
筑波研究所

### 販売拠点

本社  
東京支店  
名古屋支店  
営業所3地域



大阪から世界へ！



## 国内関係会社

ペルノックス（秦野）  
高圧化学工業（大阪）  
山口精研工業（名古屋）  
カクタマサービス（大阪）  
千葉アルコン製造（千葉）

# 第5次中期5カ年経営実行計画について (補足)

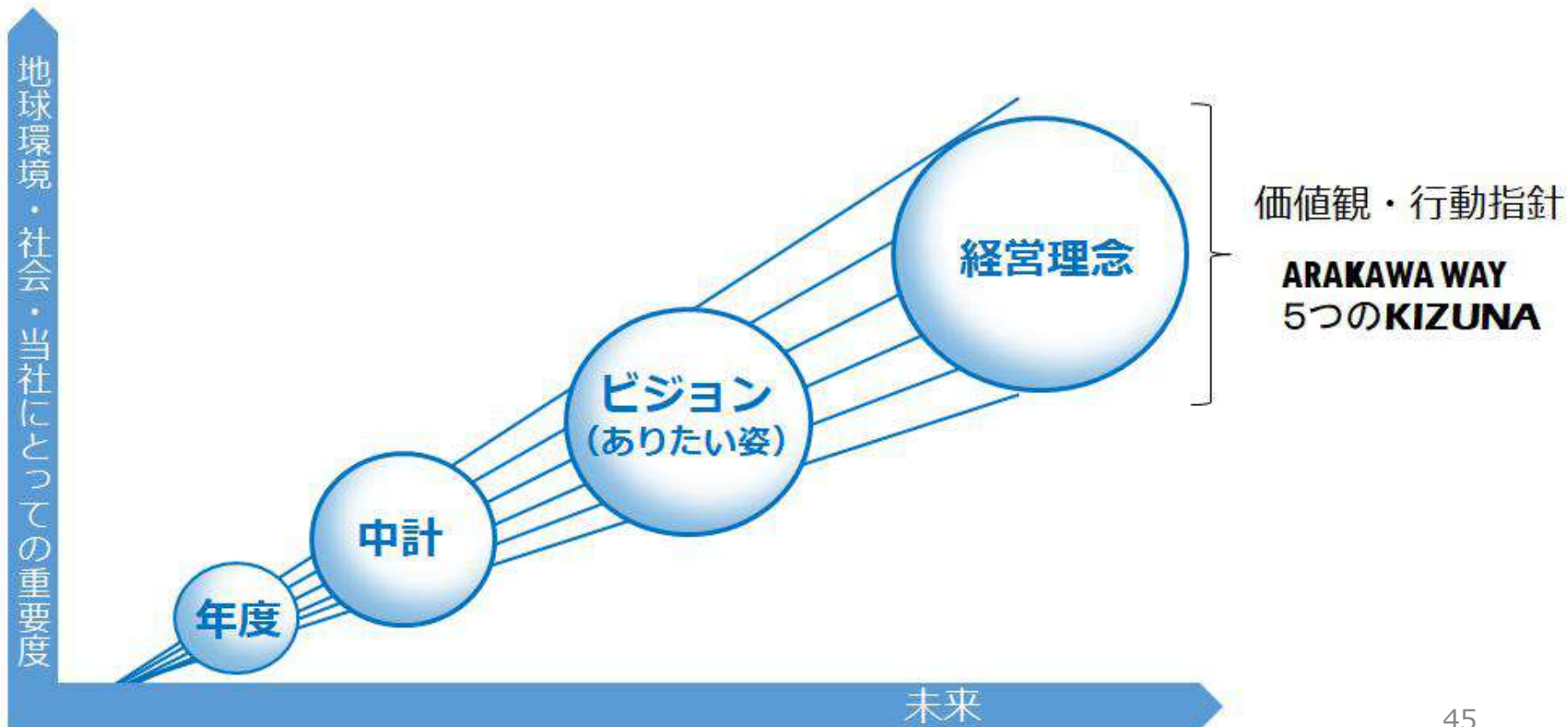
# 経営理念とビジョン

## 【経営理念】

個性を伸ばし 技術とサービスで みんなの夢を実現する

## 【ビジョン】

つなぐを化学する SPECIALITY CHEMICAL PARTNER

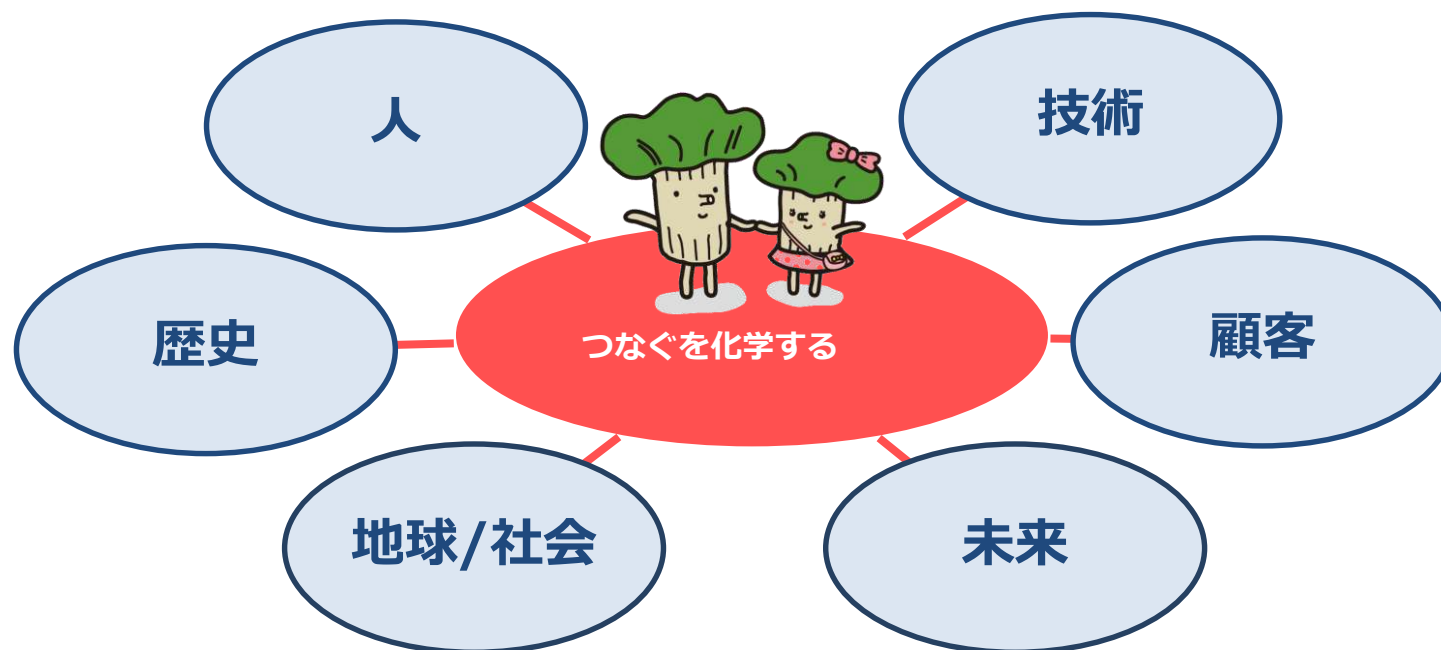


# 2030年のありたい姿

ロジンをはじめとする環境に配慮した素材を活かし、  
「つなぐ」技術の深化と新たな付加価値の創造に挑戦し続けることで、  
地球環境と社会の持続可能な未来に貢献する

つなぐを化学する

SPECIALITY CHEMICAL PARTNER





# 荒川化学の未来像（ビジョンの具現化）

- 地球環境と社会の持続的な未来に貢献するエコシステムにしっかり入り込む
- ライフサイエンス関連などの素材・REALとDIGITALを下支えするケミカルパートナーへ変革

持続可能な地球環境と社会の実現

REAL

ライフサイエンス

DIGITAL

「ありたい姿」の実現

# 優先的な重要課題（マテリアリティ）と5つのKIZUNA

## ■ 優先的な重要課題として12項目を選定し、5つのKIZUNA\*との紐付け

\*荒川化学グループの価値観・行動指針「ARAKAWA WAY 5つのKIZUNA」

| ESG | 優先的な重要課題           | 5つのKIZUNA       |
|-----|--------------------|-----------------|
|     |                    |                 |
| E S | 安全文化の醸成            | 【社会の軸】 まもる      |
| E   | 環境保全の強化            |                 |
| G   | ガバナンスの強化           |                 |
| G   | 事業のグローバル化推進        | 【人の軸】 関わりあう     |
| S   | ダイバーシティ&インクルージョン推進 | 【自身の軸】 主役になる    |
| S   | 働きがい改革             |                 |
| S   | NEXT事業の創出          | 【技術の軸】 技術の伝承と革新 |
| E S | マーケティング力・研究開発力の強化  |                 |
| G   | 生産体制再構築            |                 |
| G   | 健全な財務基盤            | 【顧客の軸】 お客様と共に歩む |
| E S | 持続可能な調達と供給         |                 |
| G   | 品質マネジメントの強化        |                 |

ステークホルダーにとっての関心・影響

極めて  
高い

高い

荒川化学グループにとっての重要度

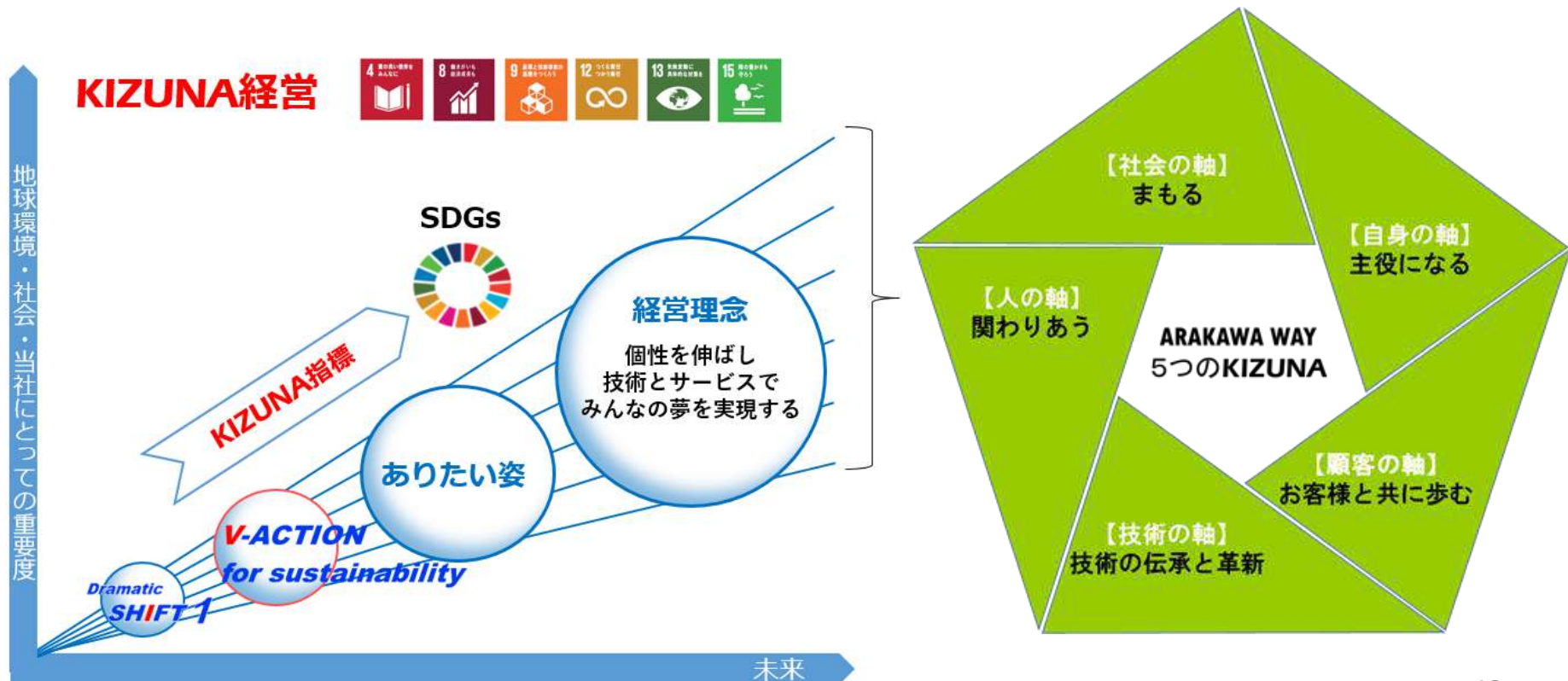
\*策定にあたってはSDG CompassやGRIスタンダードなどグローバルガイドラインを参照



# 基本方針

## KIZUNA経営の推進とKIZUNA指標の達成

KIZUNA指標：5つのKIZUNA とリンクした優先的な重要課題から設定した指標  
「ありたい姿」を実現するための指標



# KIZUNA経営



## ① サステナビリティ委員会 設置

- ・ 重要課題や関連目標の設定や見直し、進捗状況のモニタリング・評価
- ・ 事業ポートフォリオの見直しや中長期的な経営計画、方向性を決定

## ② KIZUNA推進室 設置

- ・ 個人と会社がともに成長できる体制や施策を立案
- ・ 5つのKIZUNA共有活動や働きがい改革などを通じて、企業風土の改革を目指す

## ③ 事業戦略部 設置

- ・ グローバル事業戦略の提案・推進・評価・見直し
- ・ 事業の付加価値を高め、持続可能な成長の実現を目指す

# KIZUNA指標一覧

| 5つのKIZUNA          | 優先的な重要課題               | K I Z U N A 指標                                      | 実績                  | 目標                                                  |                       |
|--------------------|------------------------|-----------------------------------------------------|---------------------|-----------------------------------------------------|-----------------------|
|                    |                        |                                                     | 2021年度              | 2025年度                                              | 2030年度                |
| 【社会の軸】<br>まもる      | 安全文化の醸成                | 災害・事故ゼロ継続（死亡・休業災害等）および<br>第三者機関による保安力評価、安全レベルの継続的向上 | 休業災害0件<br>保安力評価受審   | 災害・事故ゼロ継続（死亡・休業災害等）<br>安全レベルの継続的向上（評価4）             |                       |
|                    | 環境保全の強化                | C O <sub>2</sub> 排出量の削減                             | 2015年度比<br>32.5%削減  | 2015年度比<br>30%削減                                    | 2015年度比<br>50%削減      |
|                    |                        | マツタロウの森の植林活動およびC O <sub>2</sub> 吸収量評価実施             | 植林実施、<br>吸収量6トン/年以上 | 2026年度までに約1万本の植林を実施<br>C O <sub>2</sub> 吸収量10トン/年以上 |                       |
|                    | ガバナンスの強化               | サステナビリティ委員会の設置と運用                                   | 設置と運用               | 持続可能な経営および企業価値向上に向けた取り組み実施<br>（KIZUNA指標の達成）         |                       |
|                    |                        | 重大な不正やコンプライアンス違反発生ゼロを継続                             | 0件                  | 0件継続                                                |                       |
| 【人の軸】<br>関わりあう     | 事業のグローバル化<br>推進        | 海外駐在員の邦人指数                                          | 14%ダウン              | 2019年度比15%ダウン                                       | 2019年度比30%ダウン         |
|                    |                        | 海外売上高伸長率                                            | 32.7%アップ            | 2019年度比50%アップ                                       | 2019年度比85%アップ         |
|                    |                        | バイオマス度換算販売量指数                                       | 1.9%アップ             | 2019年度比7%アップ                                        | 2019年度比15%アップ         |
| 【自身の軸】<br>主役になる    | ダイバーシティ&<br>インクルージョン推進 | 付加価値労働生産性                                           | 3.2%アップ             | 2019年度比25%アップ                                       | 2019年度比35%アップ         |
|                    |                        | 従業員満足度調査（働きがいアンケート）                                 | イキイキタイプ<br>55.7%    | イキイキタイプ<br>50%以上                                    | イキイキタイプ<br>60%以上      |
|                    |                        | 過去3年のメンタルヘルスによる休業者の復職率                              | 52.4%               | 80%以上                                               | 100%                  |
|                    |                        | 社会貢献活動の実施                                           | 実施                  | 地域清掃や献血などの継続と新たな貢献活動の実施                             |                       |
|                    |                        | 育児休業取得率                                             | 16.0%               | 男性育休取得率30%以上                                        | 2025年度に再設定            |
|                    |                        | 女性管理職人数                                             | 2名増                 | 2021～2025年で7名増                                      | 2025年度に再設定            |
|                    | 働きがい改革                 | ミッションをS H I F Tした数                                  | 4件                  | 8件以上/5年                                             | 10件以上/5年              |
| 【技術の軸】<br>技術の伝承と革新 | N E X T事業の創出           | 「そでてる」ミッション移行テーマ件数                                  | 0件/1年               | 5件/5年                                               | 5件/5年、1事業化            |
|                    | マーケティング力・<br>研究開発力の強化  | サステナビリティ製品の連結売上高指数                                  | 19%アップ              | 2019年度比25%以上アップ                                     |                       |
|                    | 生産体制再構築                | モノ、ヒト、機器など各種施策の実施                                   | 多能工化の実施など           | 品種統合、O E M、I o T の導入など各種施策の実施                       |                       |
| 【顧客の軸】<br>お客様と共に歩む | 健全な財務基盤                | 営業利益率                                               | 4.1%                | 7%以上                                                | 10%以上                 |
|                    |                        | ROE                                                 | 2.6%                | 7%以上                                                | 8%以上                  |
|                    | 持続可能な調達と供給             | 持続可能な調達率（金額ベース）                                     | 67%                 | 70%                                                 | 70%以上維持               |
|                    |                        | 調達先監査件数                                             | 4件                  | 50件                                                 | 50件以上維持               |
|                    | 品質マネジメントの強化            | 品質クレーム件数削減率                                         | 100%削減              | 2019年度比50%削減                                        | 発生率最小化に向けた<br>強化施策の推進 |

# 財務目標

(百万円)

|                     | 2020年度 <sup>1)</sup> | 2023年度<br>目標 <sup>2)</sup> | 2025年度<br>目標 <sup>2)</sup> | 5 力年<br>伸長額 <sup>3)</sup> | 5 力年<br>伸長率 <sup>3)</sup> | 2030年度<br>目標 |
|---------------------|----------------------|----------------------------|----------------------------|---------------------------|---------------------------|--------------|
| 売上高                 | 70,572               | 84,000                     | 90,000                     | +19,427                   | +27.5 %                   | 100,000以上    |
| 営業利益                | 3,257                | 4,500                      | 6,500                      | +3,242                    | +99.6 %                   | 10,000以上     |
| 経常利益                | 3,652                | 4,500                      | 6,500                      | +2,847                    | +78.0 %                   | 10,000以上     |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 | 2,169                | 3,250                      | 4,500                      | +2,330                    | +107.5 %                  | -            |
| 営業利益率(%)            | 4.6                  | 5.4                        | 7.2                        | -                         | -                         | 約10.0        |
| EBITDA<br>(%)       | 6,423<br>9.1         | 9,800<br>11.7              | 11,200<br>12.4             | -                         | -                         | -            |

- 1) 新収益認識基準を適用していない2020年度の売上高実績値  
 2) 2023年度と2025年度は新収益認識基準を想定した売上高を記載  
 3) 新収益認識基準を適用していない2020年度の売上高実績値基準

| (参考) 減価償却費    | 2022年度           | 2023年度           | 2024年度           | 2025年度           |
|---------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| うち千葉アルコン製造(株) | 約2,300<br>→1,700 | 約1,800<br>→2,200 | 約1,500<br>→1,800 | 約1,200<br>→1,400 |

赤字は修正値

# 財務目標（セグメント別）

（百万円）

|                     |             | 2020年度<br>実績 <sup>1)</sup> | 2023年<br>目標 <sup>2)</sup> | 2025年度<br>目標 <sup>2)</sup> | 5カ年<br>伸長率 <sup>3)</sup> |
|---------------------|-------------|----------------------------|---------------------------|----------------------------|--------------------------|
| 機能性コーティング事業         | 売上高         | 15,147                     | 19,000                    | 20,000                     | +32.0 %                  |
|                     | セグメント利益     | 1,114                      | 1,800                     | 2,100                      | +88.4 %                  |
| 製紙・環境事業             | 売上高         | 17,104                     | 19,000                    | 20,000                     | +16.9 %                  |
|                     | セグメント利益     | 565                        | 900                       | 1,250                      | +121.0 %                 |
| 粘接着・バイオマス事業         | 売上高         | 25,804                     | 30,500                    | 31,000                     | +20.1 %                  |
|                     | セグメント利益     | 1,554                      | 1,200                     | 2,100                      | +35.1 %                  |
| ファイン・エレクトロニクス<br>事業 | 売上高         | 12,252                     | 15,000                    | 18,000                     | +46.9 %                  |
|                     | セグメント利益     | 528                        | 1,150                     | 1,800                      | +240.8 %                 |
| みつける                | 売上高         | -                          | 200                       | 600                        | -                        |
|                     | セグメント利益     | -                          | 80                        | 280                        | -                        |
| 合計                  | 売上高         | 70,309                     | 84,000                    | 90,000                     | +28.0 %                  |
|                     | セグメント利益     | 3,763                      | 5,150                     | 7,550                      | +100.6 %                 |
|                     | 新規開発投資      | △377                       | △650                      | △850                       | —                        |
|                     | 新規開発投資差引後利益 | 3,385                      | 4,500                     | 6,700                      | +97.9 %                  |

- 1) 新収益認識基準を適用していない2020年度の売上高実績値  
 2) 2025年度と2025年度は新収益認識基準を想定した売上高を記載  
 3) 新収益認識基準を適用していない2020年度の売上高実績値基準

# 事業ポートフォリオ改革

## ■コア技術・素材

荒川化学グループが提供できる価値に対して、**長期的に経営資源を投入し、事業ポートフォリオの中核とする**

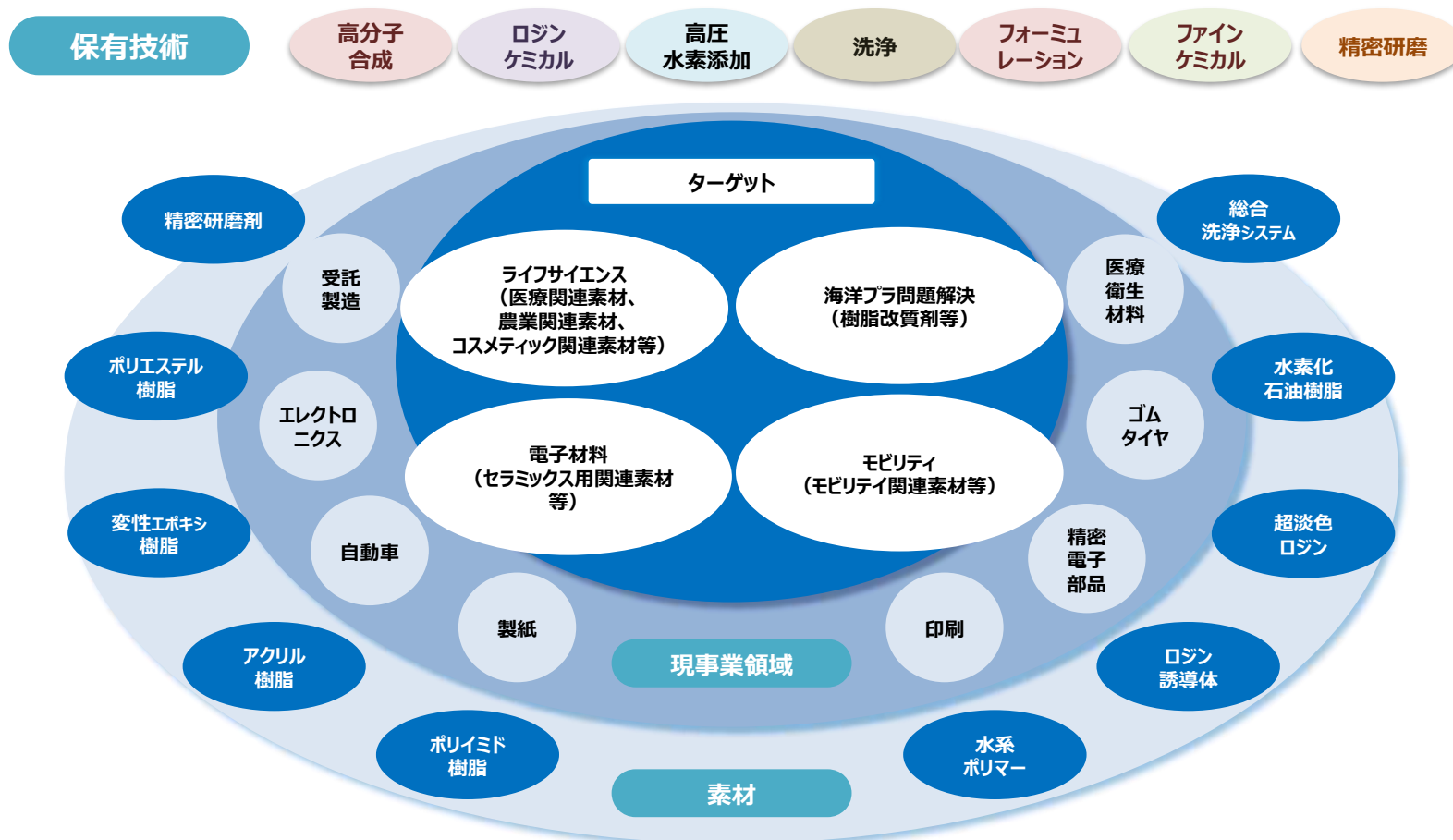
| コア技術・素材   | 強み                         | 方向性                                               |
|-----------|----------------------------|---------------------------------------------------|
| 水系ポリマー    | 重合技術                       | より一層環境に配慮した製品の開発<br>コア技術を活用した機能性材料としての新規用途展開      |
| フォレストケミカル | 原料調達<br>ロジン基礎技術<br>ロジン変性技術 | 持続可能な再生原料の有効活用<br>資源確保、高機能化<br>高付加価値用途への展開        |
| 水素添加      | 高圧水添技術・設備                  | グローバルでのブランド力の維持・強化<br>高圧水添技術の伝承と活用・展開<br>ブラッシュアップ |
| 機能性材料*    | スペシャリティ<br>カスタマイズ          | 業界情報の集約<br>市場変化スピードへの対応、新規テーマ獲得<br>品質、生産設備の強化     |

\* 機能性コーティング剤（光硬化型/熱硬化型樹脂）、低誘電ポリイミド樹脂、ファインケミカル、電子材料配合製品、精密研磨剤など

# 事業ポートフォリオ改革

## ■ 現事業領域・素材と今後のターゲット分野

現事業領域に加え、**新たな事業領域での事業創出**に挑戦





# 事業ポートフォリオ改革

## ■プロダクト・ポートフォリオ・マネジメント

「みつける」「そだてる」「のばす」ミッションへ積極的に経営資源を投入

2020年度 時点

みつける

成長性

そだてる

売上高 10 億円  
または事業利益 1 億円  
を見込める事業

- ✓ 熱硬化型樹脂
- ✓ 低誘電ポリイミド樹脂
- ✓ 電池用材料

のばす

経営資源の集中投入により成長が  
期待できる事業（事業利益率7%以上）

- ✓ 光硬化型樹脂
- ✓ 製紙薬品（海外）
- ✓ 水素化石油樹脂
- ✓ 精密部品洗浄剤

やめる/わたす/  
すてる

採算性が見込めない事業

かせぐ

長期的に利益を生み出す事業  
（事業利益黒字。利益率5%目処）

- ✓ 印刷インキ用・塗料用樹脂
- ✓ 製紙薬品（国内）
- ✓ ロジン系粘着接着剤用樹脂
- ✓ ファインケミカル
- ✓ 電子材料用配合製品
- ✓ 精密研磨剤

収益性



# 事業ポートフォリオ改革

## 2025年度 ありたい姿

みつける

成長性

そだてる

売上高 10 億円  
または事業利益 1 億円  
を見込める事業

- ✓ 第4次中計でみつけたテーマ
- ✓ 第5次中計でみつけたテーマ

のばす

経営資源の集中投入により成長が期待できる事業（事業利益率7%以上）

- ✓ 光硬化型樹脂
- ✓ 熱硬化型樹脂
- ✓ 製紙薬品（海外）
- ✓ 低誘電ポリイミド樹脂
- ✓ ファインケミカル
- ✓ 電池用材料
- ✓ 精密部品洗浄剤

やめる/わたす/  
すてる

採算性の改善が見込めない事業  
付加価値を生まない事業  
コアに成り得ない事業

事業評価

かせぐ

長期的に利益を生み出す事業  
（事業利益黒字。利益率5%目処）

- ✓ 印刷インキ用・塗料用樹脂
- ✓ 製紙薬品（国内）
- ✓ ロジン系粘着接着剤用樹脂
- ✓ 水素化石油樹脂
- ✓ 電子材料用配合製品
- ✓ 精密研磨剤

### ターゲット分野

- ・ ライフサイエンス  
（医療関連素材、農業関連素材  
コスメティック関連素材など）
- ・ 海洋プラスチック  
問題解決関連素材
- ・ セラミックス用関連素材
- ・ モビリティ関連素材

収益性

# 事業ポートフォリオ改革

- 新規事業創出の仕組みを確立し、ターゲット分野への参入に挑戦
- AI・MI活用による研究開発活動の効率化を推進

## 新規分野での実績化

ライフサイエンス  
医療関連素材、農業関連素材  
コスメティック関連素材など

海洋プラスチック  
問題解決関連素材

セラミックス用  
関連素材

モビリティ  
関連素材

など

- ・ マーケティング機能の強化
- ・ 社内テーマ提案・チャレンジャー育成の推進
- ・ 外部ソースの有効活用

みつける



成長性

|                 |     |
|-----------------|-----|
| そだてる            | のばす |
| やめる/わたす<br>/すてる | かせぐ |

収益性



# セグメント組み換え（2021年度より）

## 旧セグメント

### 製紙薬品事業

サイズ剤

紙力増強剤

### コーティング事業

機能性コーティング剤

印刷インキ・塗料用樹脂

合成ゴム重合用乳化剤

### 粘接着事業

水素化石油樹脂

粘着・接着剤用樹脂 など

シリコーン樹脂

### 機能性材料事業

精密部品洗浄剤 など

低誘電ポリイミド樹脂

ファインケミカル

電子材料用配合製品

精密研磨剤

印は、主に  
ロジン系製品

印は、主に  
超淡色ロジン  
系製品

## 新セグメント

### 機能性コーティング事業

機能性コーティング剤

印刷インキ・塗料用樹脂

シリコーン樹脂

### 製紙・環境事業

紙力増強剤

サイズ剤

### 粘接着・バイオマス事業

水素化石油樹脂

粘着・接着剤用樹脂 など

合成ゴム重合用乳化剤

### ファイン・エレクトロニクス事業

精密部品洗浄剤 など

低誘電ポリイミド樹脂

ファインケミカル

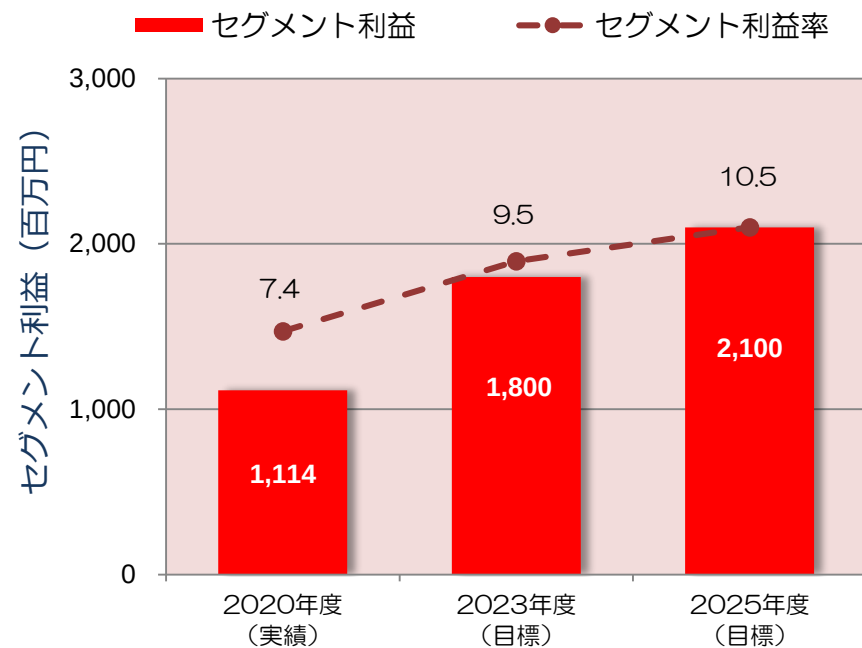
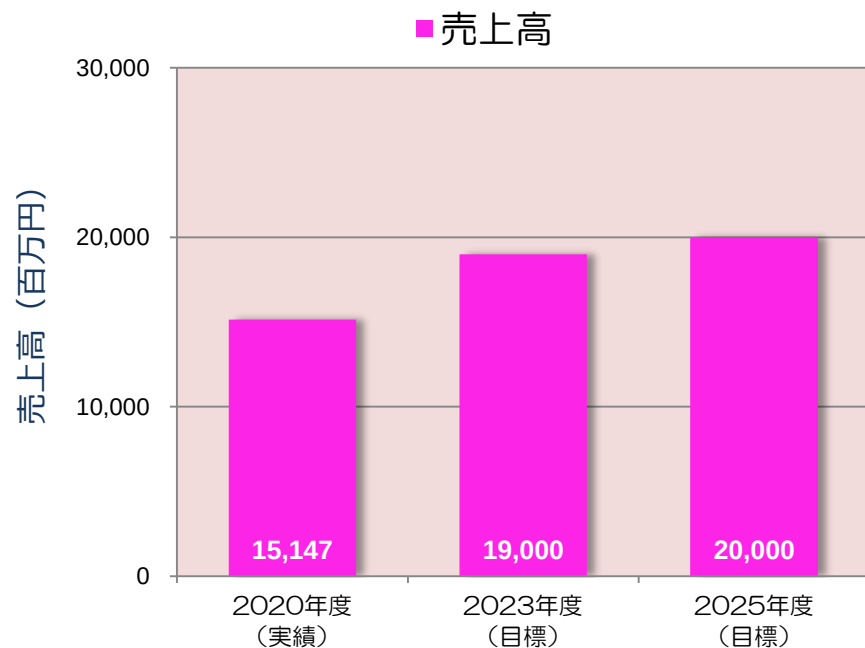
電子材料用配合製品

精密研磨剤

# 機能性コーティング事業

## 高収益・注力

- 機能性コーティング剤の強固な事業基盤構築によるさらなる拡大
- 印刷インキ用樹脂や塗料用樹脂は、採算性の向上を推し進めるとともに、コア技術を活かした新規テーマの創出に注力

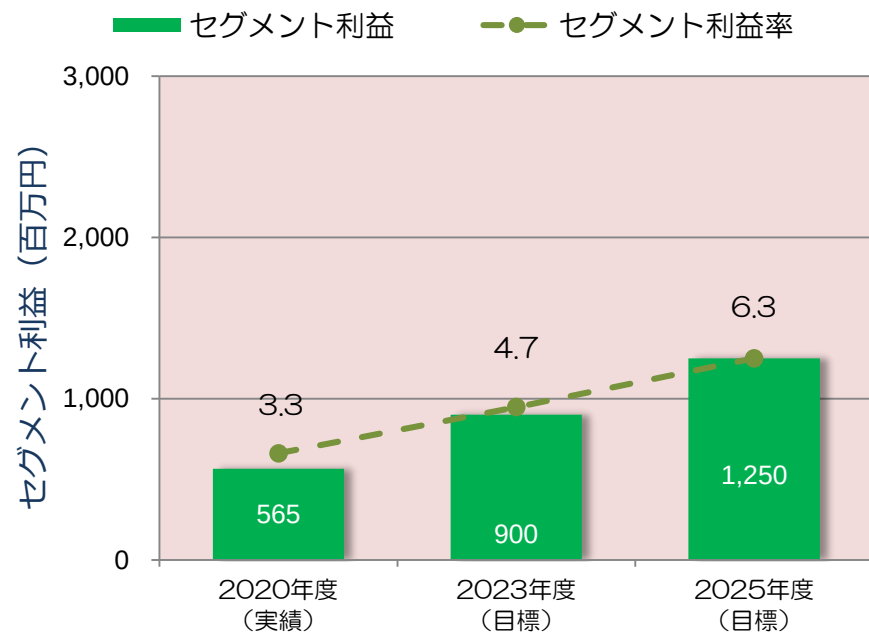
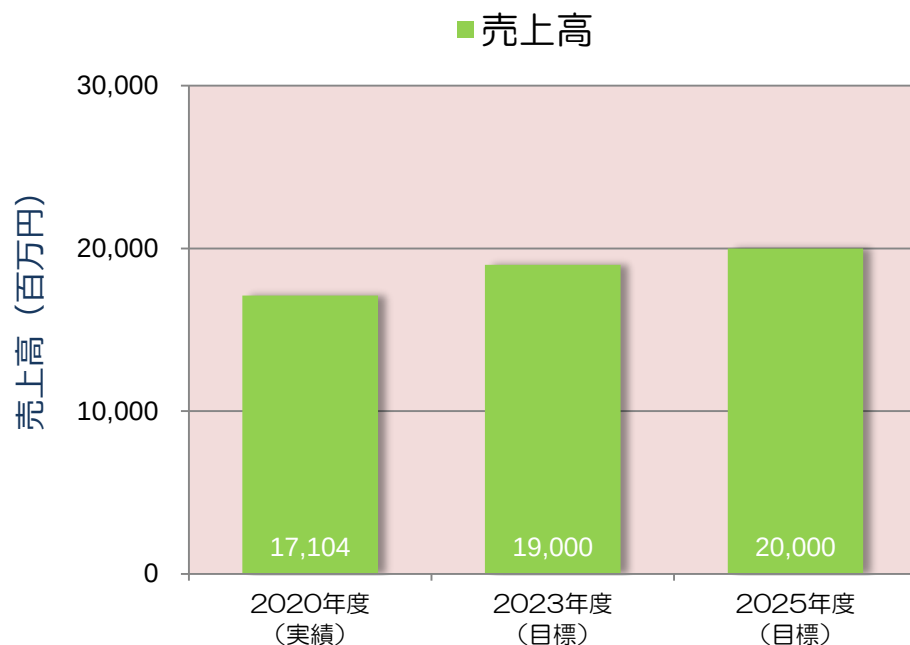


# 製紙・環境事業

## ASEAN拡大

- 推進中の海外事業の拡大戦略を加速するとともに、国内事業は採算性の向上を強力に推し進め、コア技術を活かした新規テーマの創出に注力

- ・ ASEANを中心としたアジア地域での紙力増強剤の拡大
- ・ テーマの選択と集中、生産体制の最適化による国内事業の採算性向上
- ・ 水系ポリマーを活用した地球環境と社会へ貢献できる新規テーマの創出

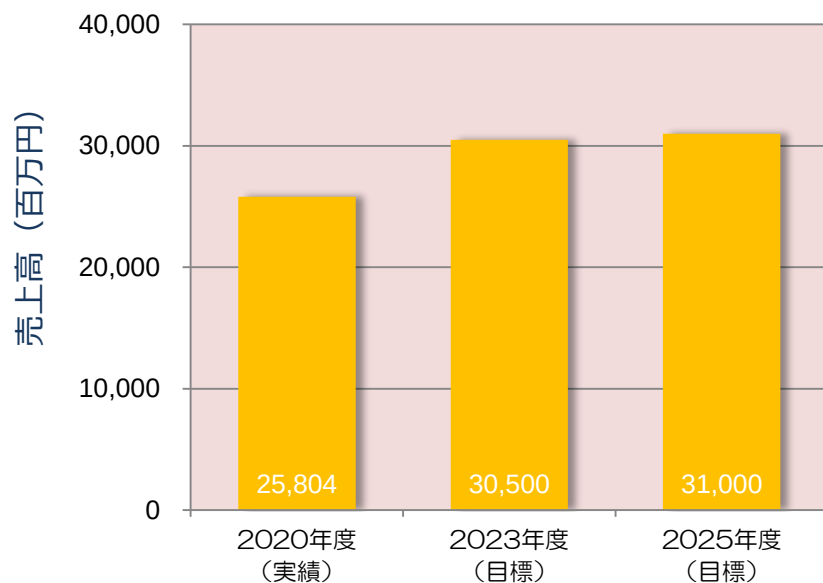


# 粘接着・バイオマス事業

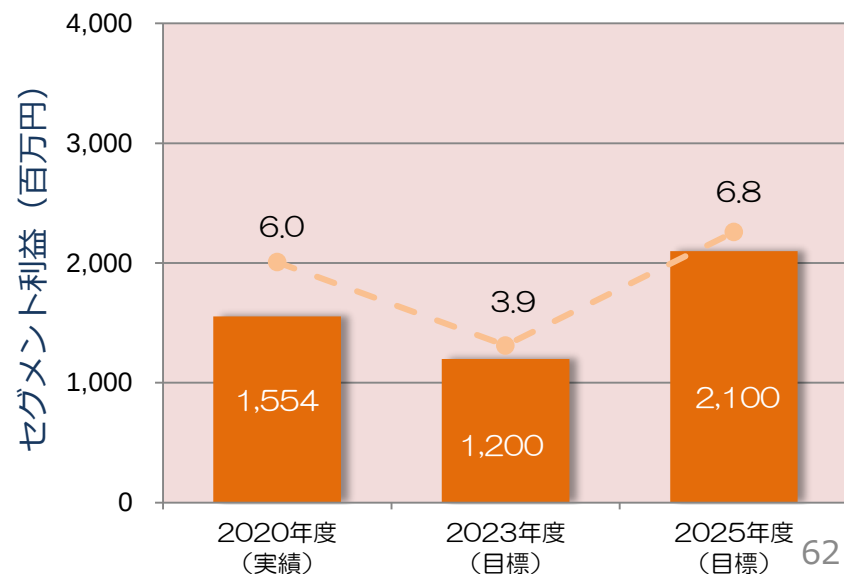
## グローバル基盤・展開

- 「ロジンの荒川」から「Global Pine Chemicals Partner」への深化を目指し、  
松脂資源と関連事業の持続性を確保
- 水素化石油樹脂「ARKON」はアジア唯一のグローバルサプライヤーとして名実  
ともにグローバルでのブランド力を維持・強化
- ・ バイオマス素材としての利点を活かしたロジン誘導体事業の拡大と持続性確保
- ・ 「ARKON」3拠点体制（水島、千葉、ドイツ）の特長を活かした供給体制構築と拡販

■ 売上高



■ セグメント利益      ○ セグメント利益率



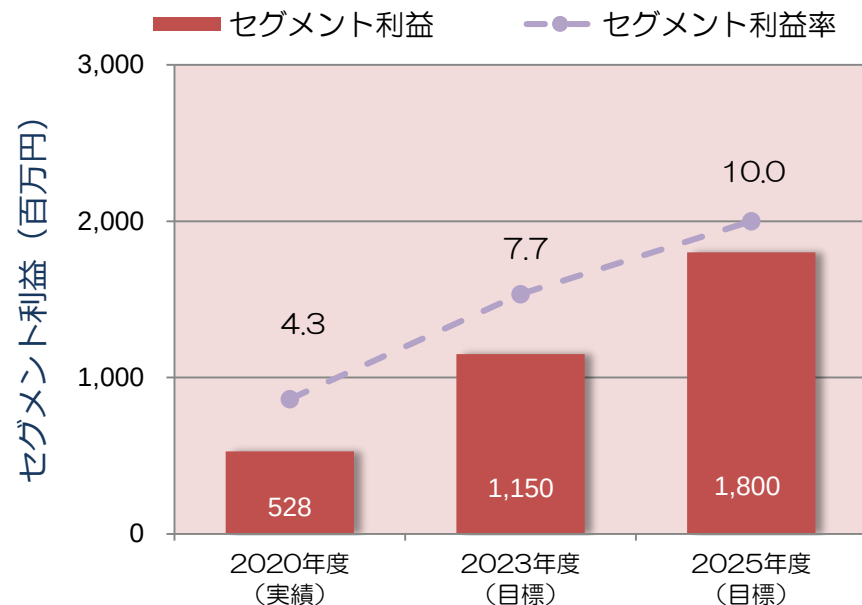
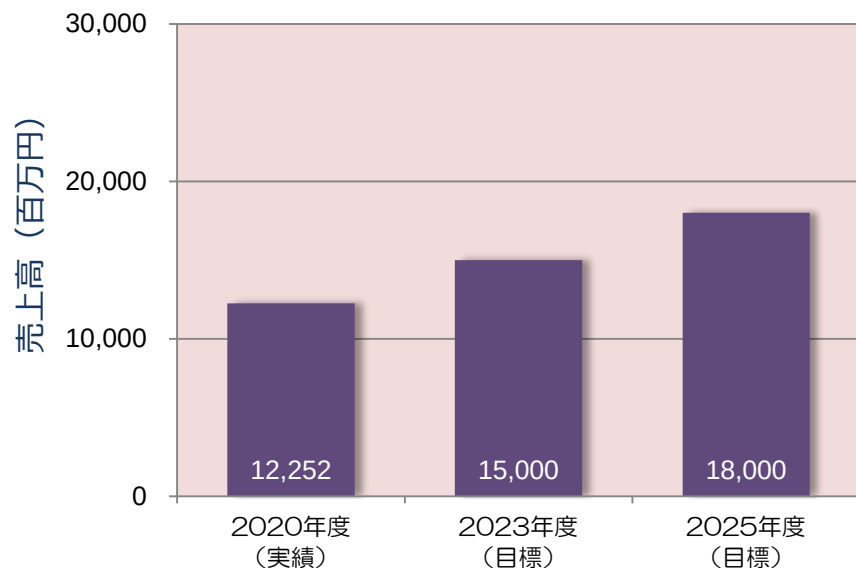
# ファイン・エレクトロニクス事業

## 拡大・新規投資

### ■ 通信高速大容量化、自動車電動化をメインターゲットとして、市場ニーズに合わせて関係会社を含む関連事業間で素早く連携できる仕組みを確立

- ・ 海外の半導体用途および非フラックス洗浄用途での洗浄剤「パインアルファ」の拡大
- ・ 5Gスマートフォン用高周波FPC市場での「PIAD」の拡大
- ・ 先端材料分野での拡販と新規テーマの獲得による「ファインケミカル製品」の拡大
- ・ センサー市場を中心とした伸長分野での「電子材料用配合製品」の拡大
- ・ HDD、SAWデバイス市場での「精密研磨剤」のさらなる拡大

#### ■ 売上高



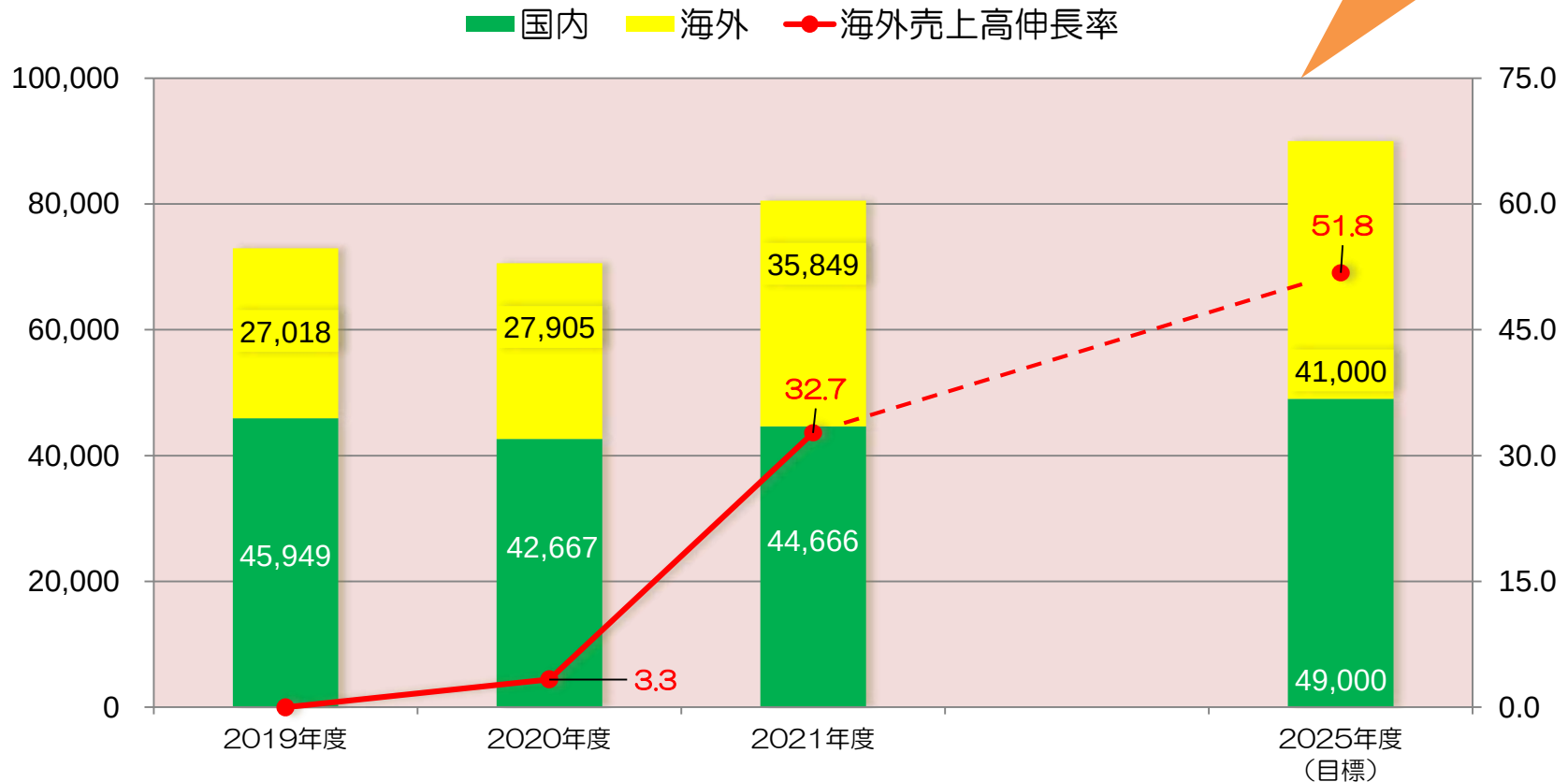
# 海外売上高伸長率

さらなるグローバル化を推進し、

2019年度比海外売上高伸長率50%以上を目指す

新拠点 約75億円

- ・ 千葉アルコン製造
- ・ 荒川ケミカルベトナム社





# 連結データ

|                   | 4次中計期間実績<br>(2016年度～2020年度) | 5次中計期間<br>(2021年度～2025年度) | 備考                                                                       |
|-------------------|-----------------------------|---------------------------|--------------------------------------------------------------------------|
| 総投資金額<br>(定常投資含む) | 約300億円(5年間累計)               | 約250億円(5年間累計)             | 生産能力増強<br>・荒川ケミカルベトナム社<br>・機能性コーティング剤<br>・ファインケミカル事業<br>M&Aなど            |
| 減価償却費             | 約30億円(最終年度)                 | 約48億円(最終年度)               | -                                                                        |
| ROE               | 4.0%(最終年度)                  | 7.0%以上(最終年度)              | -                                                                        |
| 配当性向              | 30%を目途とする                   | 40%を目標とする                 | 成長戦略の実現による利益の拡大を通じた配当額の増加と、配当の「安定的、継続的、かつ積極的」な実施という両面を勘案して、配当性向40%を目標とする |

# SLBスキームイメージ

当社のマテリアリティに対応する取り組みとKIZUNA指標(KPI)からリスクと機会に対して重要な以下の2つを選定

KPI 1 CO<sub>2</sub>排出量の削減(Scope 1、2)

KPI 2 サステナビリティ製品の連結売上高指数

## サステナビリティ・リンク・ボンドにおける発行条件と連動するSPTs

SPT 1

2025年度のCO<sub>2</sub>排出量を2015年度比30%削減

SPT 2

2025年度のサステナビリティ製品の連結売上高指数を2019年度比25%以上アップ

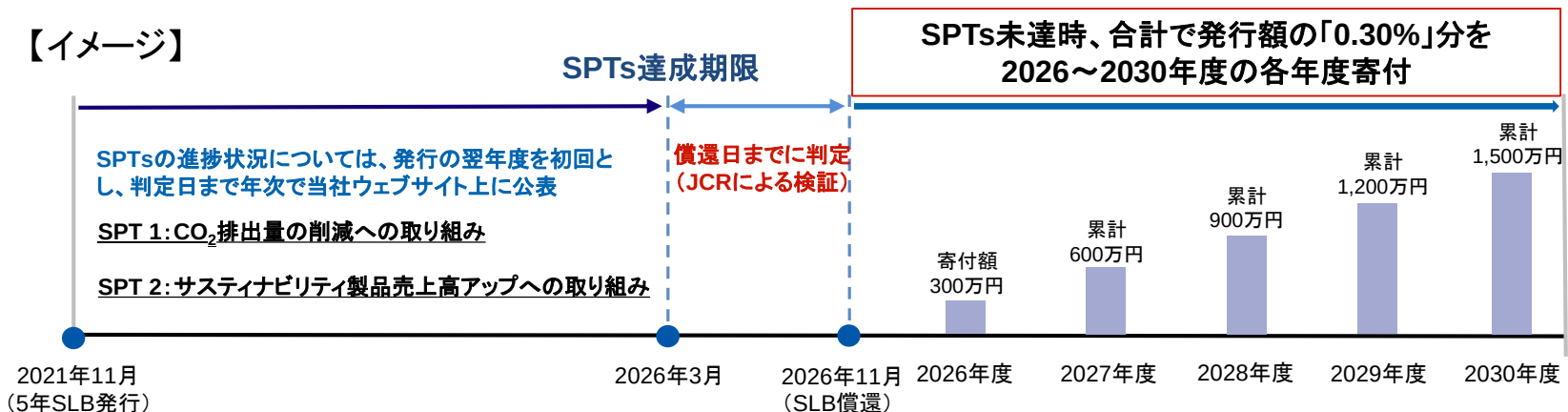
※KPI(キー・パフォーマンス・インディケーター)：非財務情報に関する重要情報評価指標

※SPTs(サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット)：サステナビリティ・リンク・ボンドの発行条件を決定する発行体の経営戦略に基づく目標

### SPTs未達時

判定日において、SPTsの目標が達成できない場合、2026~2030年度の各年度寄付を実施。  
合計で社債発行額の0.30%相当額の寄付をする。

### 【イメージ】



# サステナビリティ製品のSDGsへの貢献

## サステナビリティ製品と関連する主なSDGsおよび169のターゲット

| SDGs目標                                                                                                     | 169のターゲットの主な項目                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  <p>8 働きがいも経済成長も</p>      | <p>8.8<br/>移住労働者、特に女性の移住労働者や不安定な雇用状態にある労働者など、全ての労働者の権利を保護し、<br/><b><u>安全・安心な労働環境を促進する。</u></b></p>                                                                                                                                                                                         |
|  <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> | <p>9.4<br/>2030年までに、<b><u>資源利用効率の向上とクリーン技術及び環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上させる。</u></b>全ての国々は各国の能力に応じた取組を行う。</p>                                                                                                                                                          |
|  <p>12 つくる責任 つかう責任</p>   | <p>12.2<br/>2030年までに<b><u>天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用</u></b>を達成する。<br/>12.4<br/>2020年までに、合意された国際的な枠組みに従い、<b><u>製品ライフサイクルを通じ、環境上適正な化学物質や全ての廃棄物の管理を実現し、人の健康や環境への悪影響を最小化するため、化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出を大幅に削減</u></b>する。<br/>12.5<br/>2030年までに、<b><u>廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減</u></b>する。</p> |
|  <p>13 気候変動に具体的な対策を</p> | <p>13.3<br/><b><u>気候変動の緩和、適応、影響軽減</u></b>及び早期警戒に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能を改善する。</p>                                                                                                                                                                                                              |

メイン  
の観点

# サステナビリティ製品の指標への影響度

| カテゴリー      | 製品           | 影響度*1 | 野心度*2 |
|------------|--------------|-------|-------|
| 社会インフラ課題貢献 | 光硬化型樹脂       | 中     | ↗     |
|            | 低誘電ポリイミド樹脂   | 小     | ↗     |
|            | 電池用材料        | 小     | ↗     |
| 環境負荷低減     | 紙力増強剤        | 大     | ↗     |
|            | 湿潤紙力増強剤      | 小     | ↗     |
|            | 水系インキ・塗料用樹脂  | 小     | ↗     |
|            | 剥離紙用コーティング剤  | 小     | ↗     |
|            | 精密部品洗浄剤      | 小     | ↗     |
| 天然資源活用     | ロジン誘導体       | 中     | ↗     |
|            | 超淡色ロジン       | 中     | ↗     |
|            | 水系粘着・接着剤用樹脂  | 中     | ↗     |
|            | サイズ剤         | 中     | ↘     |
|            | ロジン系印刷インキ用樹脂 | 中     | ↘     |
|            | 合成ゴム重合用乳化剤   | 中     | →     |

\*1 サステナビリティ製品の売上高に占める割合、\*2 2019年度比2025年度売上高増への貢献度

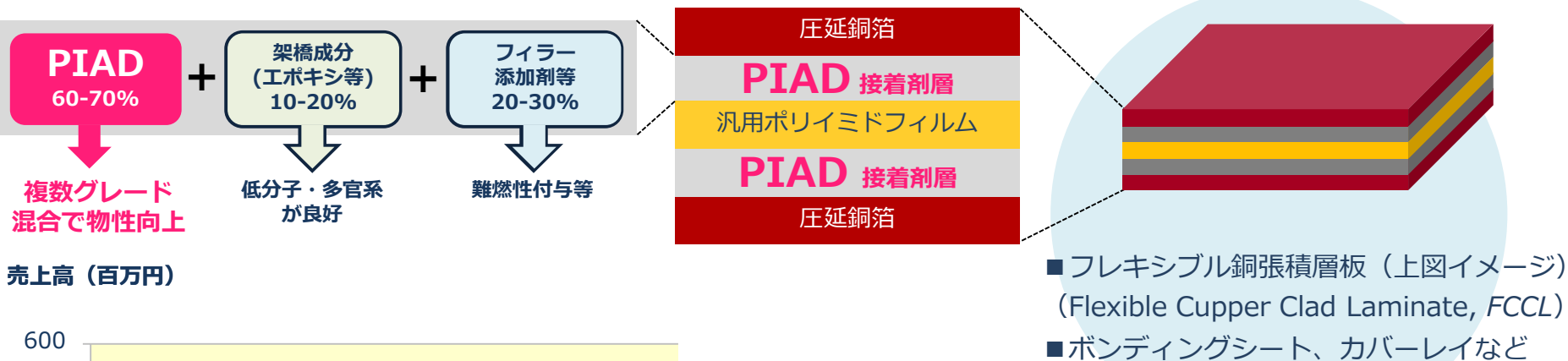
# 製品情報

# 低誘電ポリイミド樹脂 (PIAD)

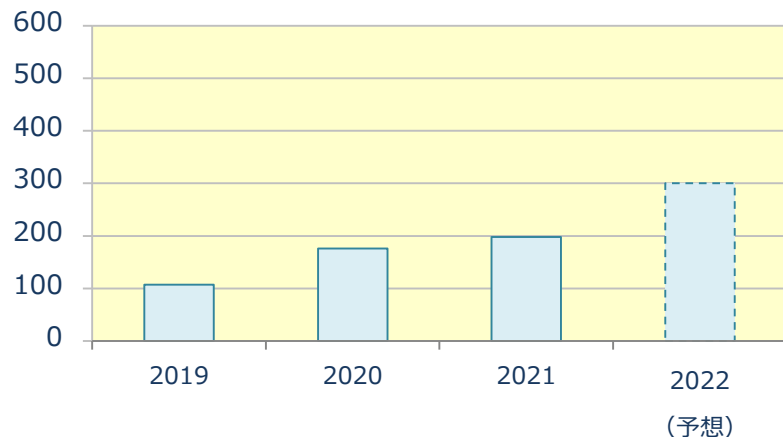
ファイン・エレクトロニクス

 : サステナビリティ製品

- 低誘電、高耐熱、高接着性、柔軟性（独自のポリマー重合技術）に優れる高付加価値製品
- 処理データの高速化、大容量化（高周波化）に伴う電気信号の伝送損失を抑える  
⇒ 次世代通信技術「5G」で使用されるミリ波に対応可能なフレキシブル基板向け低誘電接着剤として注目される



売上高（百万円）



製品外観  
(液体)

架橋成分や  
フィラーなど  
配合し、熱硬化



硬化後

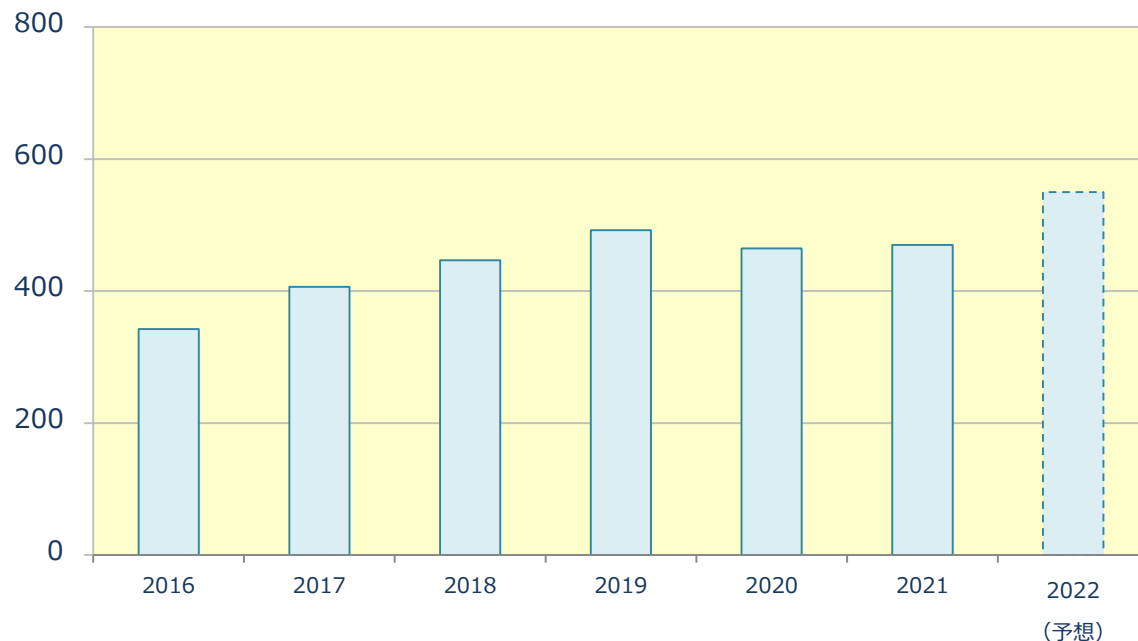
# 熱硬化型樹脂

## 機能性コーティング

- 長年のインキ・塗料分野で培った高分子合成技術、二液硬化技術、配合技術を駆使して開発した熱硬化型機能性コーティング剤
- フィルムコーティングの**高機能化**に
- 「機能」を追求し、多様化するニーズに適した「解」を提案

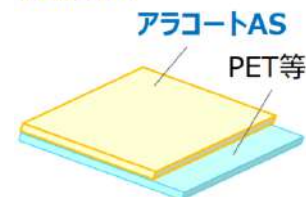
売上高（百万円）

アラコート（熱硬化タイプ）



ものづくりポータルサイト「イプロスものづくり」  
オンライン展示会にも掲載中

（層構成例）



- 帯電防止コーティング剤
- UVコーティング用アンカー剤
- 蒸着用アンカー剤
- 熱硬化型自己修復コーティング剤
- 離型コーティング剤

# 精密部品洗浄システム



ファイン・エレクトロニクス



: サステナビリティ製品

## 洗浄実験室



### ■ 2019年6月

中国販売子会社に洗浄実験室を有する東莞分公司を開設

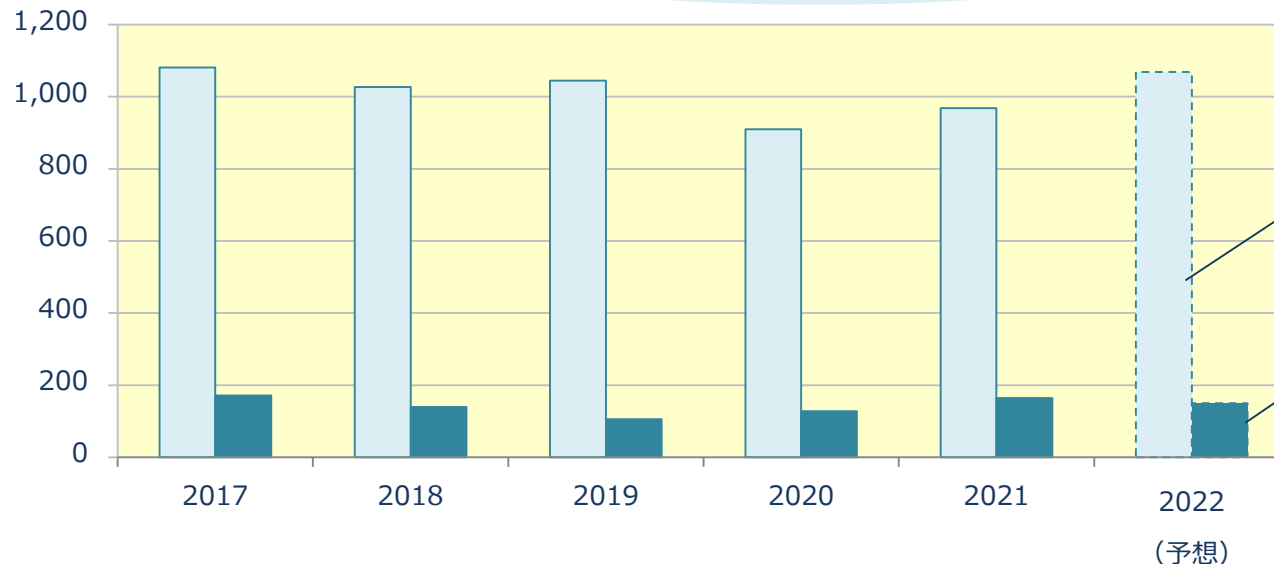
⇒精密部品洗浄事業の中国国内でのニーズに対し、

営業体制の強化および迅速なソリューション体制の提供

### ■ 廃水ゼロを目指した技術開発

売上高  
(百万円)

■ 実装基板, FC, HDDハブ, カメラモジュール,  
LED, WL-CSP, パワーデバイスなど



: サステナビリティ製品

洗浄剤 パインアルファ

洗浄装置



# ファインケミカル製品

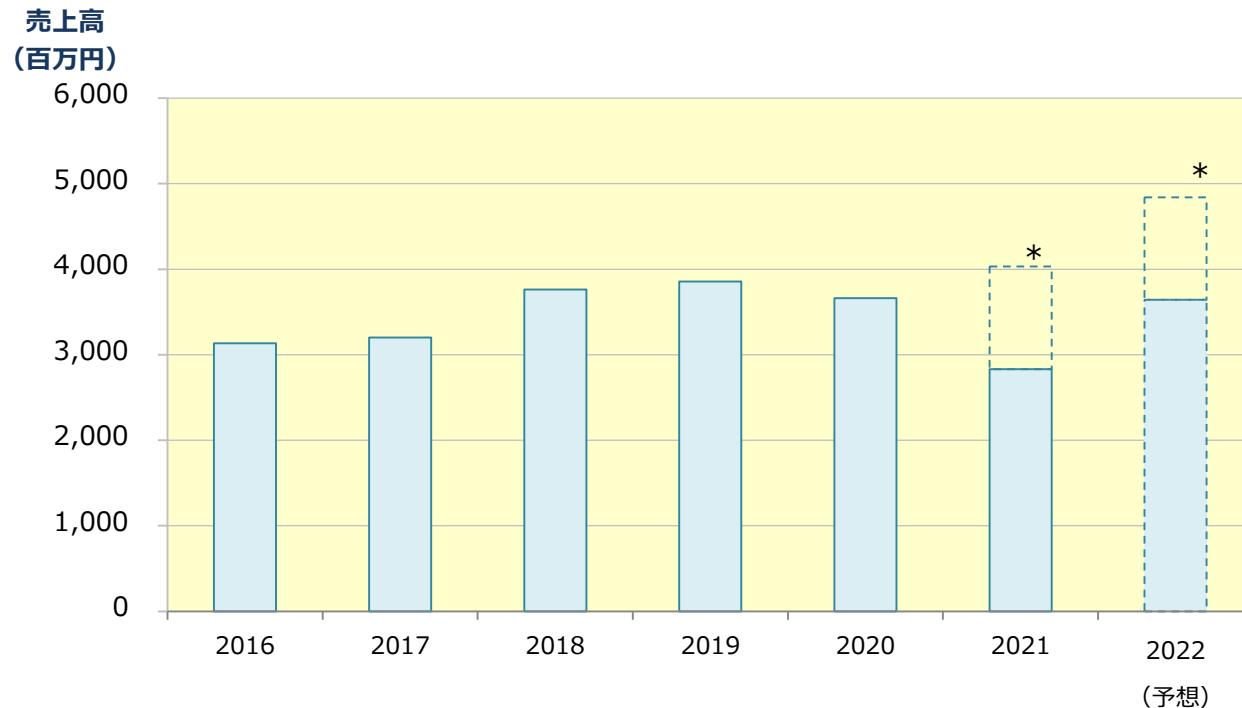


高圧化学工業



：一部サステナビリティ製品あり

- ファインケミカル製品(中間素材)を**高度な品質管理体制下**で受託製造
- 耐腐食性高圧反応設備（**ハステロイ製**）で高付加価値化  
⇒アルカリから酸条件下の広範囲のpH域での使用に対応でき、通常の材質では腐食を伴う反応でも生産が可能に



- 電子材料用途
- 医薬品用途

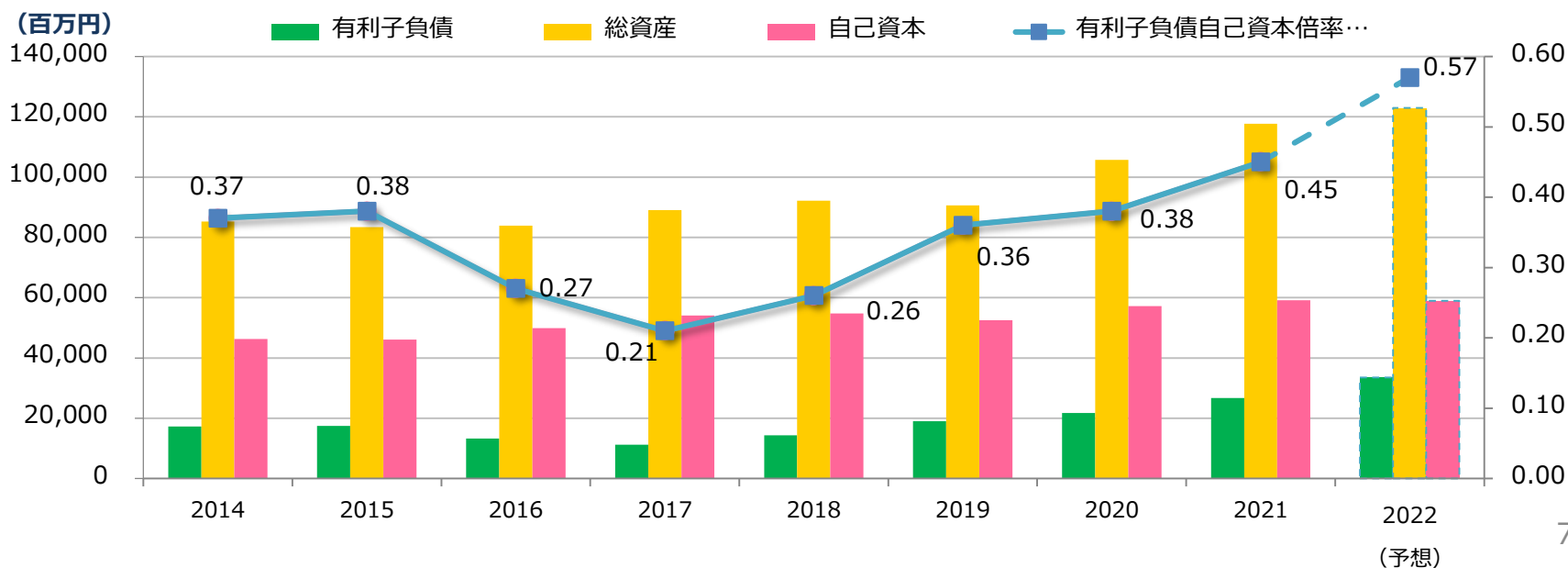
## 財務情報・その他

# 総資産・有利子負債推移

(百万円)

| 年度                          | 2014   | 2015   | 2016   | 2017   | 2018   | 2019   | 2020    | 2021    | 2022<br>(予想) |
|-----------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|---------|--------------|
| 有利子負債                       | 17,275 | 17,426 | 13,300 | 11,269 | 14,349 | 19,045 | 21,789  | 26,680  | 33,500       |
| 総資産                         | 85,245 | 83,380 | 83,898 | 89,019 | 92,174 | 90,600 | 105,757 | 117,739 | 123,000      |
| 自己資本                        | 46,252 | 46,129 | 49,915 | 54,123 | 54,747 | 52,546 | 57,228  | 59,184  | 59,000       |
| 自己資本比率 (%)                  | 54.3   | 55.3   | 59.5   | 60.8   | 59.4   | 58.0   | 54.1    | 50.3    | 48.0         |
| 有利子負債自己資本倍率<br>(D/Eレシオ) (倍) | 0.37   | 0.38   | 0.27   | 0.21   | 0.26   | 0.36   | 0.38    | 0.45    | 0.57         |

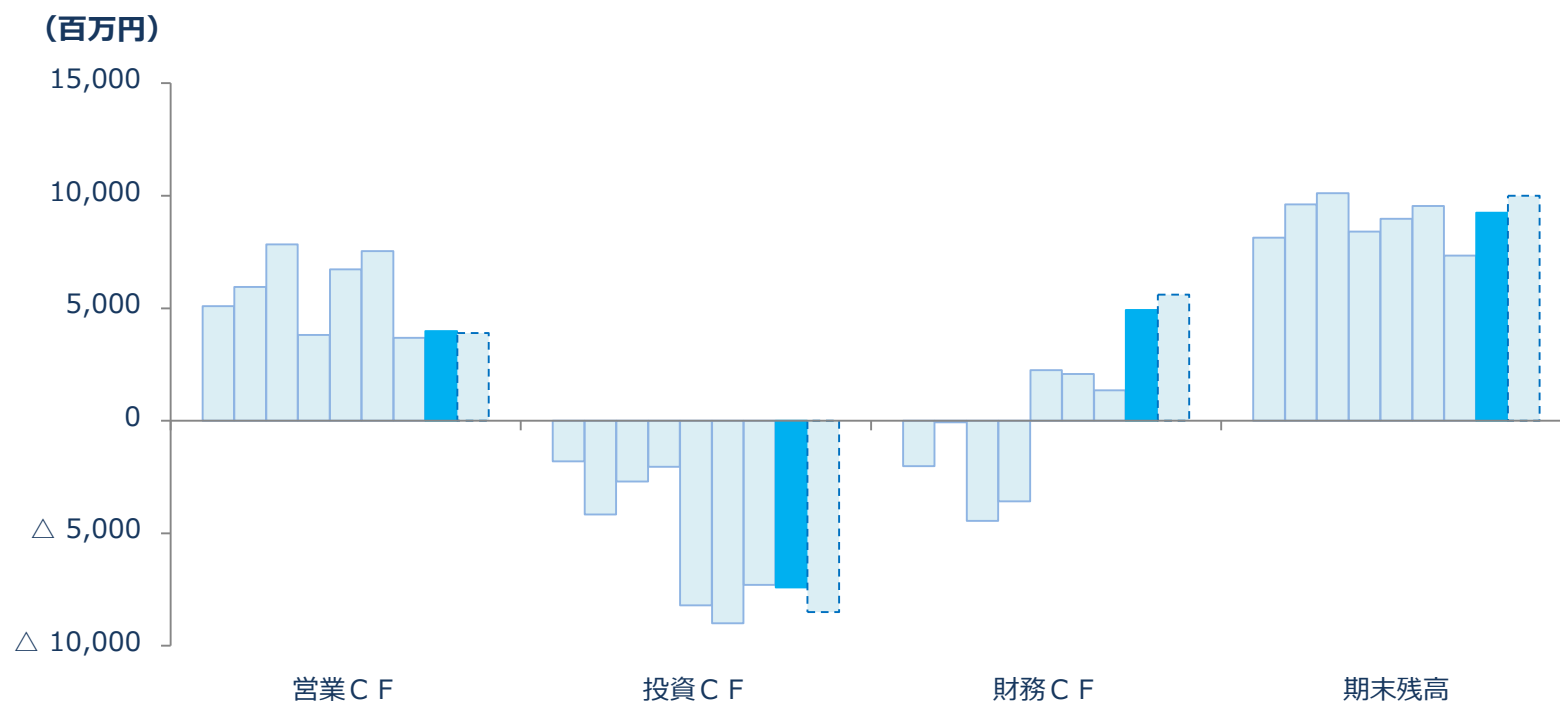
\* 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)を2018年度の期首から適用しており、2017年度に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。



# キャッシュフロー推移

(百万円)

| 年度    | 2014    | 2015    | 2016    | 2017    | 2018    | 2019    | 2020    | 2021    | 2022<br>(予想) |
|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--------------|
| 営業C F | 5,094   | 5,941   | 7,843   | 3,808   | 6,728   | 7,534   | 3,685   | 3,989   | 3,900        |
| 投資C F | △ 1,810 | △ 4,163 | △ 2,698 | △ 2,048 | △ 8,208 | △ 9,001 | △ 7,298 | △ 7,401 | △ 8,500      |
| 財務C F | △ 2,017 | △ 75    | △ 4,452 | △ 3,586 | 2,243   | 2,084   | 1,354   | 4,927   | 5,600        |
| 期末残高  | 8,136   | 9,622   | 10,118  | 8,404   | 8,970   | 9,545   | 7,342   | 9,250   | 10,000       |



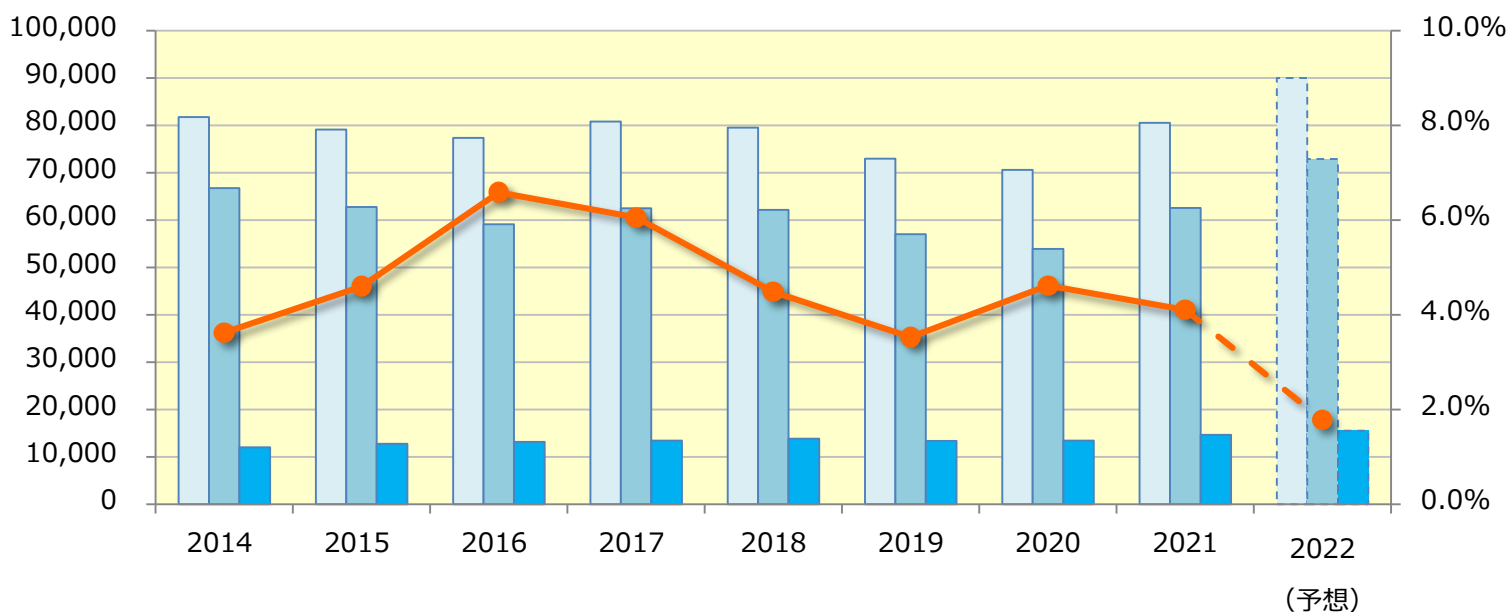
# 売上原価・販売管理費推移

(百万円)

| 年度    | 2014   | 2015   | 2016   | 2017   | 2018   | 2019   | 2020   | 2021   | 2022<br>(予想) |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------------|
| 売上高   | 81,742 | 79,119 | 77,380 | 80,782 | 79,501 | 72,967 | 70,572 | 80,515 | 90,000       |
| 売上原価  | 66,777 | 62,757 | 59,111 | 62,478 | 62,123 | 57,014 | 53,884 | 62,544 | 72,900       |
| 販管費   | 12,004 | 12,722 | 13,173 | 13,410 | 13,813 | 13,378 | 13,431 | 14,667 | 15,500       |
| 営業利益  | 2,961  | 3,639  | 5,095  | 4,892  | 3,564  | 2,574  | 3,257  | 3,304  | 1,600        |
| 営業利益率 | 3.6%   | 4.6%   | 6.6%   | 6.1%   | 4.5%   | 3.5%   | 4.6%   | 4.1%   | 1.8%         |
| 売上原価率 | 81.7%  | 79.3%  | 76.4%  | 77.3%  | 78.1%  | 78.1%  | 76.4%  | 77.7%  | 81.0%        |
| 販管費率  | 14.7%  | 16.1%  | 17.0%  | 16.6%  | 17.4%  | 18.4%  | 19.0%  | 18.2%  | 17.2%        |

(百万円)

売上高 売上原価 販管費 営業利益率



# サステナビリティ・リンク・ボンド（SLB）の発行

## 日本の化学業界では初(世界の化学業界7例目、国内10例目)となるSLB発行



マツタロウ

|                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 社債の名称                 | 荒川化学工業株式会社第5回無担保社債（社債間限定同順位特約付）<br>（サステナビリティ・リンク・ボンド）<br>（別称：荒川化学 マツタロウ サステナビリティ・リンク・ボンド）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 年限・発行額<br>（各社債の金額）    | 5年・50億円<br>（1億円）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 利率<br>（条件決定日）         | 年0.180%<br>（2021年11月19日）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 取得格付                  | A－（株式会社日本格付研究所）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 引受会社                  | みずほ証券株式会社（事務主幹事、Structuring Agent）、野村証券株式会社、<br>三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| SPTs                  | <b>SPT 1：2025年度のCO<sub>2</sub>排出量を2015年度比30%削減</b><br><b>SPT 2：2025年度のサステナビリティ製品*の連結売上高指数を2019年度比25%以上アップ</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 未達成の場合<br>（2025年度末時点） | <ul style="list-style-type: none"> <li>・片方未達の場合、下記の寄付先へ、2026～2030年度の各年度で寄付を実施（社債発行額の0.30%） <ol style="list-style-type: none"> <li>①CO<sub>2</sub>吸収に効果のある松の植林や苗などを植える法人・団体等（SPT1のみ未達の場合）</li> <li>②将来を担う学生や子どもたちへの教育の提供や関連する法人・団体等（SPT2のみ未達の場合）</li> </ol> </li> <li>・いずれも未達の場合 <ol style="list-style-type: none"> <li>①および②にそれぞれ社債発行額の0.15%相当額（合計で社債発行額の0.30%相当額）の寄付を実施</li> </ol> </li> <li>・SPTs未達の場合の寄付の実施状況ならびにSPTsの進捗状況については、ウェブサイト上に公表</li> </ul> |
| SLBの<br>適合性について       | 株式会社日本格付研究所（JCR）より、ICMAが策定したサステナビリティ・リンク・ボンド原則（SLBP）および環境省が策定したグリーンローンおよびサステナビリティ・リンク・ローンガイドラインに適合している旨の第三者意見書を取得                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |

第5次中計のKIZUNA指標のうち  
サステナビリティ経営における**リスクと機会**に対する重要な指標

# SPTsの内容について

## SPT 1

2025年度のCO2排出量を2015年度比30%削減

### CO2排出量の推移

- SPT1の算定範囲として定めた単体および国内の主要なグループ会社（ペルノックス、高圧化学工業、山口精研工業）におけるCO<sub>2</sub>排出量の合計推移

(単位:千トン)

|         | 2015年度<br>(基準年) | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度<br>(予測) |
|---------|-----------------|--------|--------|--------|----------------|
| 合計      | 59.5            | 51     | 47.8   | 45.3   | 45.3           |
| 2015年度比 |                 | ▲14.3% | ▲19.7% | ▲23.9% | ▲24%           |

### CO<sub>2</sub>排出量削減に係るロードマップ

- 2021年から2025年の5年間で継続的な投資を予定
  - EMS(環境マネジメントシステム)、省エネ活動(LED照明や効率化など)
  - 大規模投資省エネ(太陽光発電設置など)
  - 再エネ電気やカーボンニュートラルLNGの購入など

## SPT 2

2025年度のサステナビリティ製品の連結売上高指数を2019年度比25%以上アップ

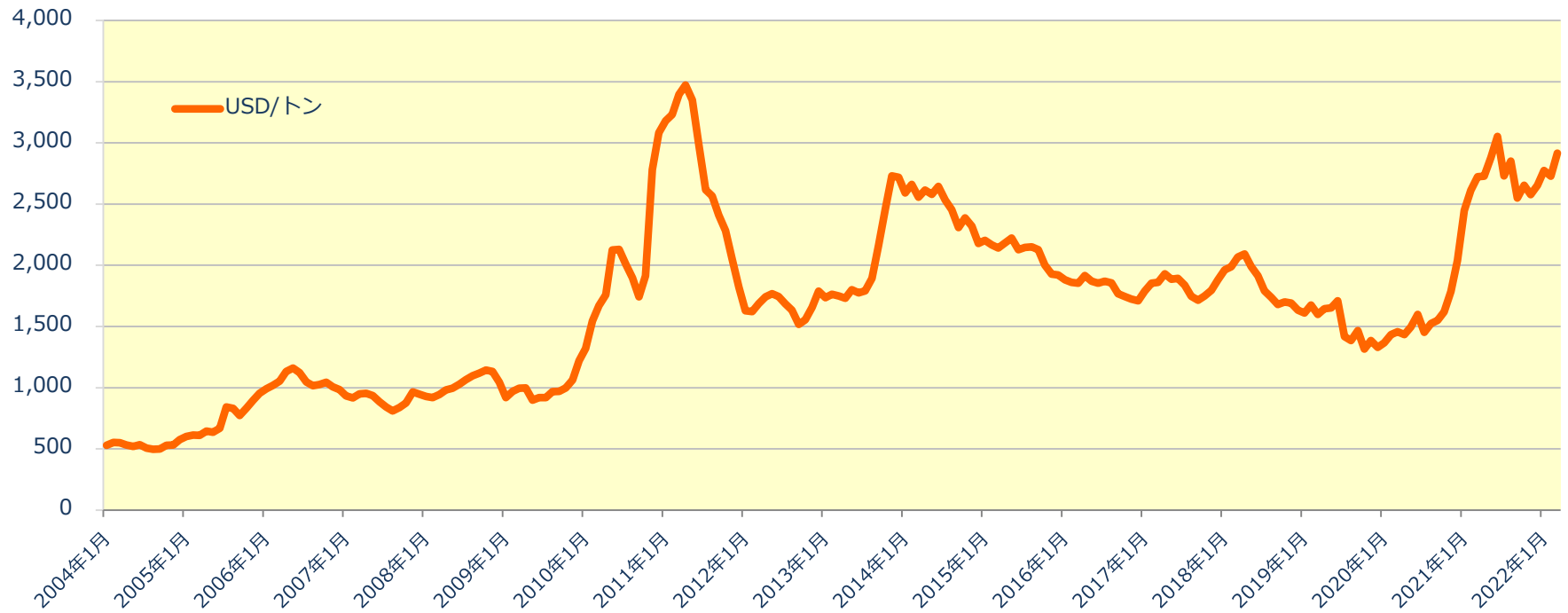
### サステナビリティ製品の連結売上高の推移と代表的製品

(単位:億円)

| カテゴリー          | サステナビリティ製品<br>(代表的製品)                                                        | 社会的便益                                                                     | 貢献するSDGs                                                                              |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 社会インフラ<br>課題貢献 | 光硬化型樹脂、<br>低誘電ポリイミド樹脂、<br>電池用材料など                                            | 5Gなど情報通信速度<br>・量の質的改善、<br>EV普及への貢献                                        |    |
| 環境負荷低減         | 紙力増強剤、<br>湿潤紙力増強剤、<br>水系インキ・塗料用樹脂、<br>剥離紙用コーティング剤、<br>精密部品洗浄剤など              | 古紙リサイクルの普及<br>促進などバリュー<br>チェーンを通じた環境<br>配慮（労働環境改善・<br>大気汚染の防止を含<br>む）への貢献 |    |
| 天然資源活用         | ロジン誘導体、<br>超淡色ロジン、<br>水系粘着・接着剤用樹脂、<br>サイズ剤、<br>ロジン系印刷インキ用樹脂、<br>合成ゴム重合用乳化剤など | 天然資源活用による<br>炭素循環社会への貢献                                                   |  |

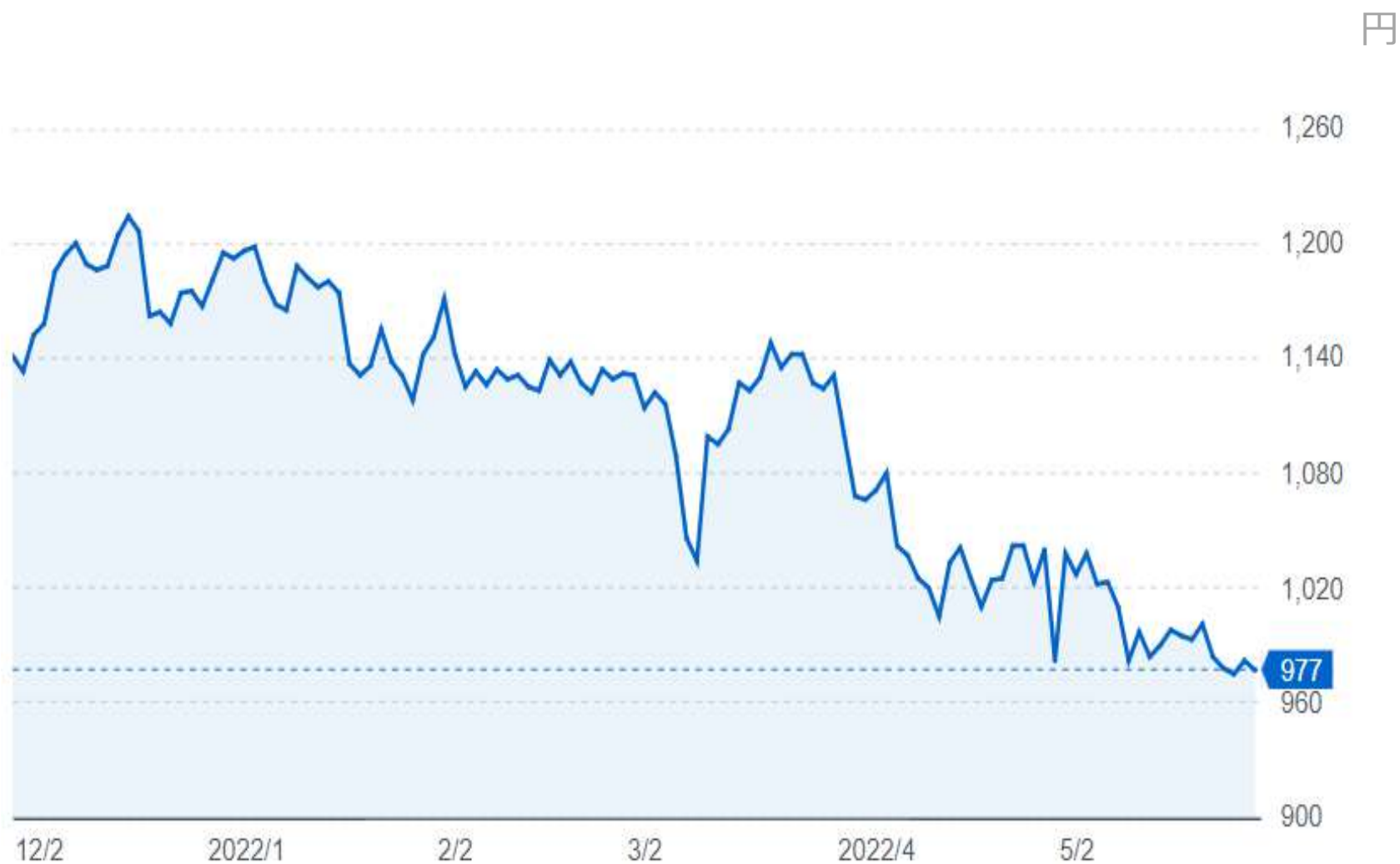
- 以下により売上げ拡大を図る
  - 循環型素材であるロジン系樹脂の新たな用途開発により維持・拡大に努める
  - カーボンニュートラルな社会の構築に資する製品への需要拡大を捕捉
  - 社会的課題解決(EV車、Society 5.0を見据えた通信インフラの拡大)に資する製品の需要拡大への対応

# ロジン価格の推移





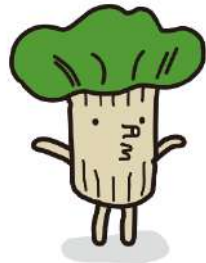
# 株価推移



# 株式情報

|             |                             |
|-------------|-----------------------------|
| 証 券 コ ー ド   | 4968                        |
| 決 算 期       | 3 月                         |
| 上 場 取 引 所   | 東証1部                        |
| 単 元 株       | 100 株                       |
| 株 価         | 977 円 (2022年5月30日15 : 00時点) |
| 最 低 所 要 金 額 | 97,700 円                    |
| 配 当 利 回 り   | 4.91%                       |
| P E R       | 21.53 倍                     |
| P B R       | 0.33 倍                      |
| 発 行 済 株 数   | 20,652,400 株 (2022年3月末現在)   |
| 長期発行体格付     | A - : 安定的 ( J C R )         |

# マツタロウ&ロジーナについて



マツタロウ

- 種類 松の妖精
- 種類 たぶん、男の子
- 種類 不明、でも子ども
- 趣味 たんけん、かくれんぼ
- 趣味 わんぱくで元気。よく、おとぼける

## 夢

1. 世界中を冒険しながら、世界中の松林でロジーナとかくれんぼすること。
2. 「マツタロウの森」を育て、大きくなった松林でみんなで遊ぶこと。

家で読書するのが趣味だけど、マツタロウにくっついていくと楽しくて、いろんな場所に行くうちに、いろんなことにワクワク、興味がいっぱい！ポシェットには街でみつけた宝もののほかに、チューイングガムとロジンのかけらを詰め込んでいます。今日もマツタロウとどこで何を発見するのかな？

## 夢

1. 化学か歴史の先生になること。
2. 「マツタロウの森」の松から、キラキラロジンを発明すること。

- 種類 松の妖精
- 種類 たぶん、女の子
- 種類 不明、でもマツタロウの妹らしい
- 趣味 お菓子づくり、読書
- 趣味 しっかりもので勉強家。でも、ちょっと恥ずかしがり屋



ロジーナ

マツタロウ&ロジーナ  
LINEスタンプ  
販売中

LINE STOREへ

